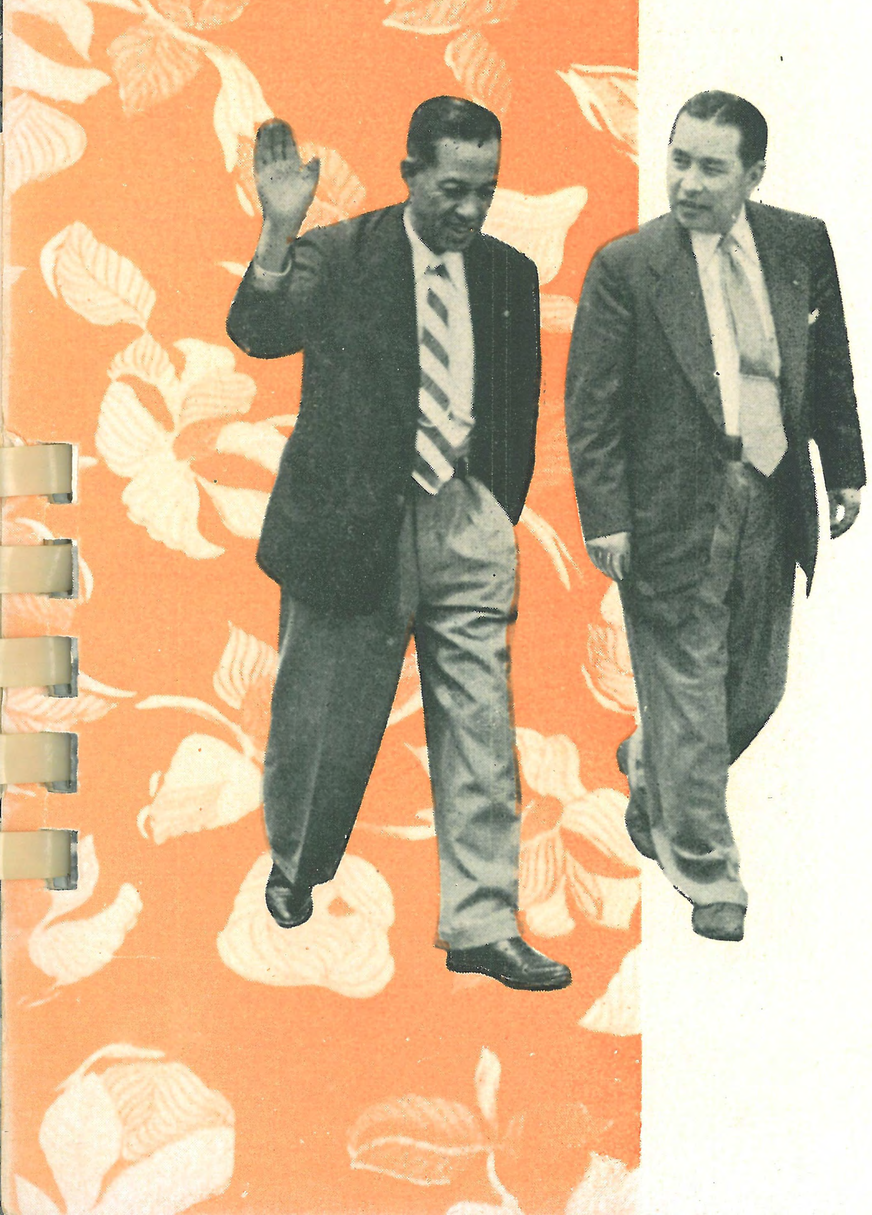
RECOLLECTIONS of Fukui EXHIBITION

1952

昭和27年4月10日 ➡ 6月25日

主催 福井縣・福井市



感謝のことば

戦災　震災　水害と　重なる災禍のなかから　不死鳥の如く起ち上って　輝かしい復興ぶりを示しつつある郷土の姿を顧みるとき　われらの胸には　限りない感謝の念が湧いて来る。

復興にちなんで　ここに繰展げるさまざまの　記録　写真　模写のどの一つをとり上げてみても　感謝の思いを新たにしないものはない

われらのめざす復興は　新しい理想に基く郷土と郷土精神の創造であり　われらはこれを推進することによって　祖国日本の再建に寄与したいと考える。われらは感謝の念を深く刻み　この復興の完成に向って更に力強い歩みを続けよう。

福井復興を讃えることば

内閣総理大臣　吉田　茂

わずか五年の間に、戦災、烈震、水害、台風禍など、相次ぐ壊滅的試練を受けられた福井県、市民諸君が、雄々しくも廃墟の上に起ち上り、よき指導者のもと心を協せ新たに近代文化による郷土建設の大目標を目ざして日夜不撓の努力を続けておられる郷土愛に対し衷心より敬意を表するものである。

しかも今日、その偉業の半ばを遂げられ華々しく福井復興博覧会を開催せられるに至ったことは、洵に喜びに堪えない次第である。

郷土愛は祖国愛に通ずる。よろしく禍を福に転じ、理想郷土の具現に尽力せられ、新生日本の再建に寄与せられるよう祈念してやまない。

昭和二十七年陽春

総裁　福井県知事　小幡治和

会長　福井市長　熊谷太三郎

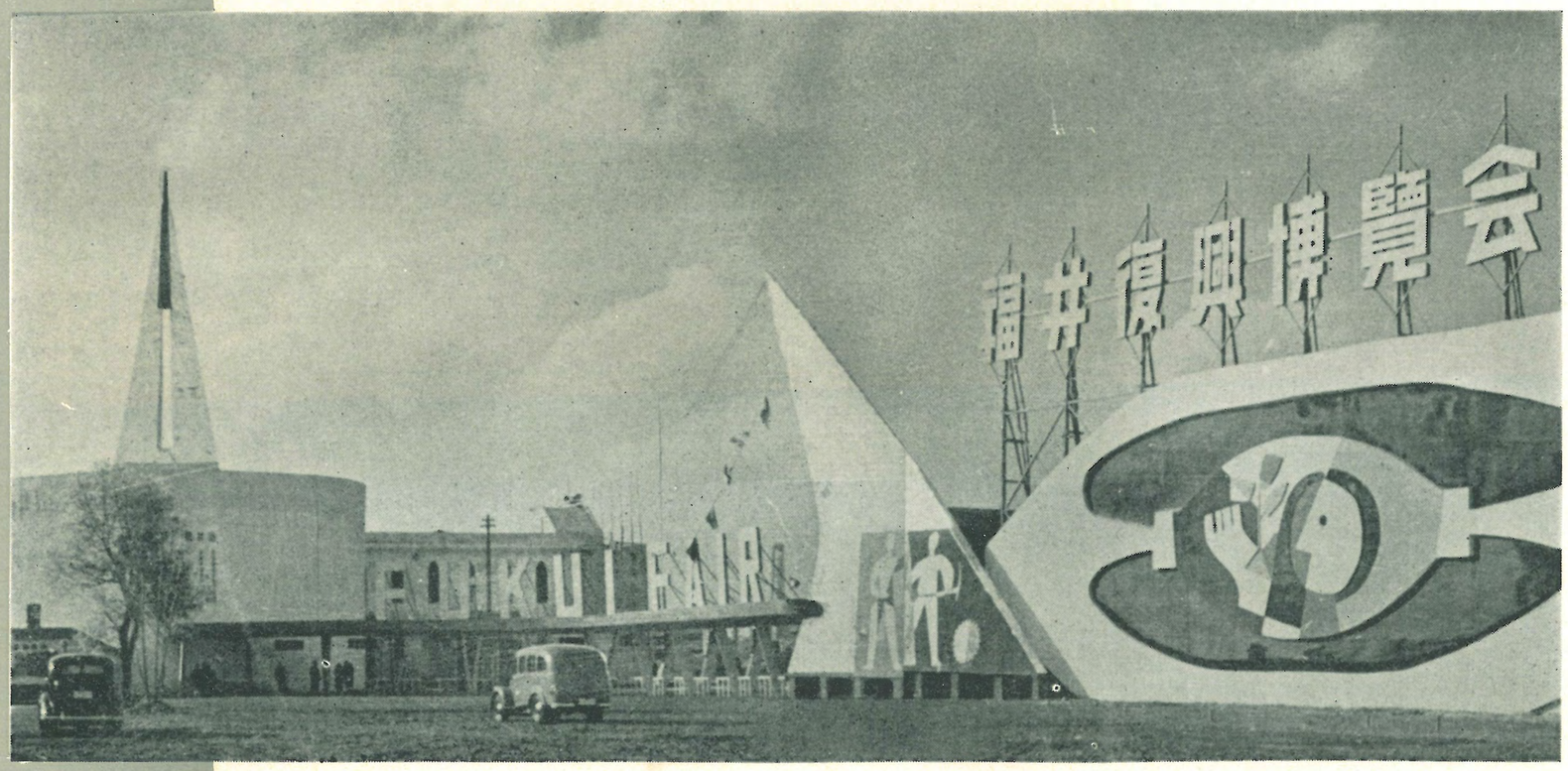
福井県・福井市民が全国一の復興に示したその同じ熱情と創意をこらして堂々世に問ふ福井復興博

一切の産業・あらゆる文化の粋をあつめた第一會場（福井大学）

—施設費２億５千万円・出品総額２５億円—

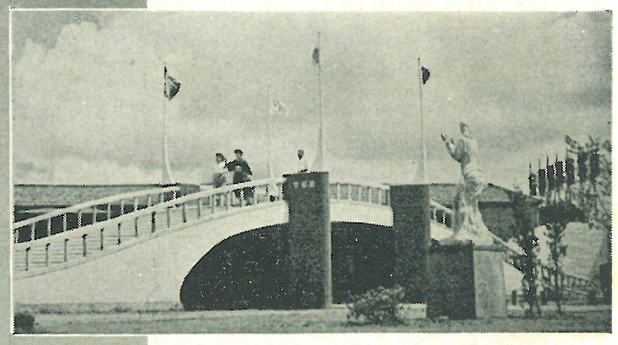
（1）駐車場
（2）切符売場・荷物預所 御案内所
（3）正門
（4）テーマ塔
（5）迎賓館
（6）平和橋
（7）大噴水
（8）福井復興館
（9）道元禅師奉讃館
（10）平和への歩み
（11）放送塔
（12）繊維日本
（13）繊維の知識
（14）糸から織物へ
（15）繊維の機械
（16）繊維ホール
（17）全国繊維の展望
（18）織物デパート
（19）国鉄館
（20）いすゞ館
（21）観光ガーデン
（22）楽焼の家
（23）生活と文化
（24）郵政館
（25）国土の産業（東日本）
（26）国土の産業（中部日本）
（27）国土の産業（西日本）
（29）特産品の出来るまで
（30）東門
（31）芸能センター
（32）御休憩所　売店
（33）あなたの電報と電話
（34）農村の機械化
（35）自然の恵み
（36）製材木工機械館
（37）日本の水道
（38）仏教館
（39）電波の世界
（40）新しい工業
（41）大食堂
（42）トヨタ館
（43）ニッサン館
（44）電気館
（45）郷土の開発
（46）おみやげデパート
（47）福井郵便局 臨時出張所
（48）たばこ館
（49）博覧会事務局
（50）福井市警警備出張所
（51）出口

正門・テーマ塔



第一会場に佇つて、まづ観客の眼を奪うものは、ざん新で壮麗な正門とテーマ塔である。世界にのびる独立日本の姿、国際市場に飛躍する産業日本の力——それらを示す二つの雄大な矢印、更にその傍にセンイ王国福井をシンボライズする巨大なシャツトルの壁面が極めて印象的で、未だ曽てこのようなダイナミツクな正門やテーマ塔は作られたことはないといわれた。

清新な方式・豊富な内容・絢爛として繰り展げる戦後最大の良心的一大綜合博



平和橋

平和橋を渡り、百花競ふ花壇と郷土の作家の手になる彫刻群を左右に眺め乍ら、円形の **大噴水** に至る。

清水を満々とたたえた水面には福井復興館の白亜の殿堂が清麗な影を映して、その三段の噴水塔から噴き上げる飛沫が描く虹の光彩は、五月晴れの感触を一しお爽やかに染める。

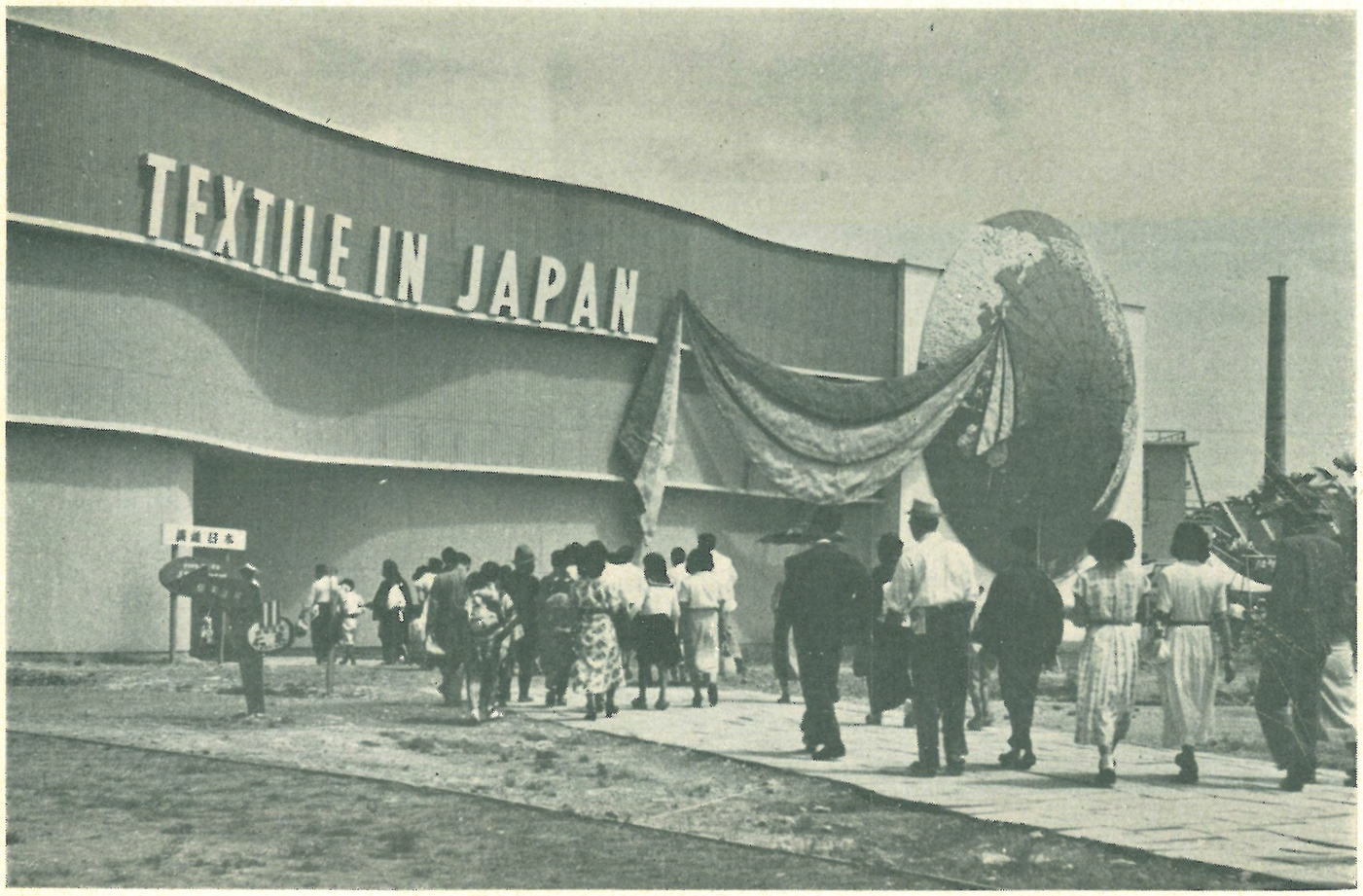
福井復興館

第一会場のトップを飾る白亜の殿堂——度重なる災害から雄々しく起ち上つた福井県民市民の泪ぐましい努力の跡を誇示する記念塔であり災害犠牲者達への供養塔であり、そして又当時寄せられた全国よりの同情と援護に対する感謝の塔でもある。館の正面には福井県市民の不撓不屈の復興意慾を象徴する〃不死鳥〃の姿が大きく浮彫りされ、館内には福井人でさえ初めてみる貴重な資料が、或はパノラマ、ジオラマとして或は写真、図表として、又は実物を以て系統的に構成配列されている。

正門を入つて間もなく、なだらかなカーブを描いて横たわる美しい陸橋その名も**平和橋**（写真右上）にさしかかる。日毎幾万の観衆の波が、この一点で立体的にクロスして、一方は吸い込まれ、一方は送り出されてゆく光景は正に第一会場の圧巻であつた。橋の頂上に立つと五十舘に近い各建造物が一望におさめられ（下の写真はその一部）その壮観は感嘆暫し歩みを止めさせた。

繊　維　の　国

斬新にして大胆・ゼイを盡した展示様式
博覧会史の一大エポック、茲に見る



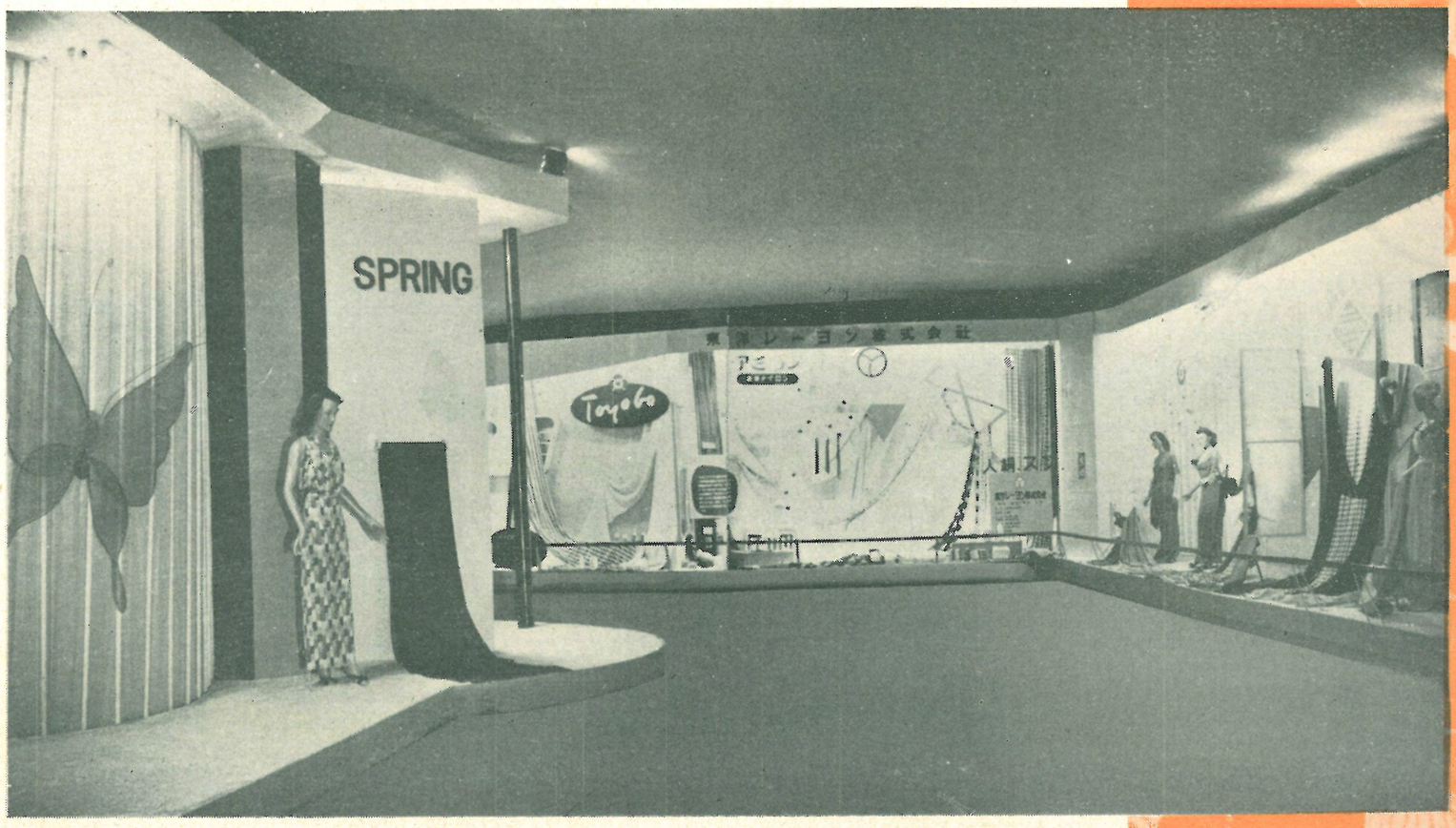
福井博は通称を**繊維博**といわれる通り、豪華絢爛たるセンイの国七館は正に第一会場の圧巻と言えよう。この七館の建設費7,000万円出品総額8億円といわれる。

特に**繊維の日本**と**繊維ホール**の如きは、そのざん新な建築構想、大胆な展示様式、贅を尽した出品物、我が国では未曽有のものであつて、正に博覧会史上の一大エポックを招来したものと言えよう。

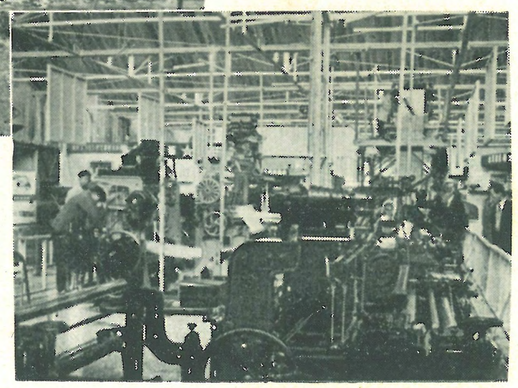
繊維の日本

TEXTILE IN JAPANと描かれた入口をくぐると、内部の配列は生糸、紡績、化繊の三部門に配別され、繊維日本を代表する優良メーカーの権威ある出品は、新手法によつて最高度に発揮された展示技術と相俟つて真に豪華けんらんたるセンイの桃源境の観を呈し、繊維産業躍進の現況を一望に捉えることが出来る。

繊維の日本の舘内



戦後日本の最高水準をゆく福井復興博



繊維の知識と実演

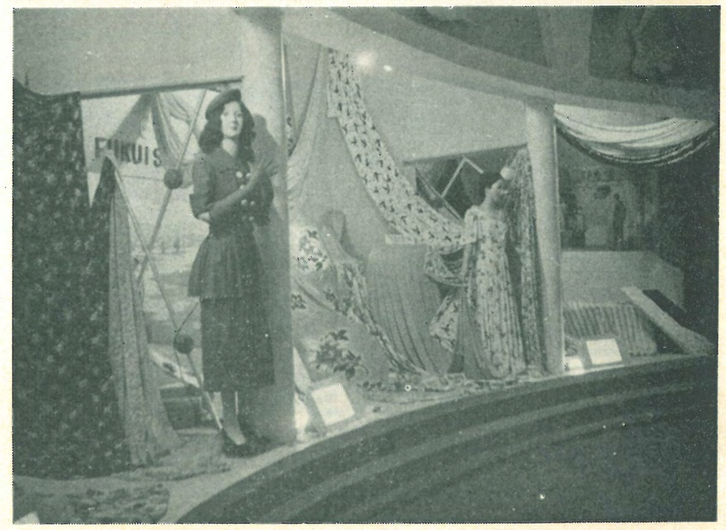
繊維デパート TEXTILE DEPART

繊維七舘

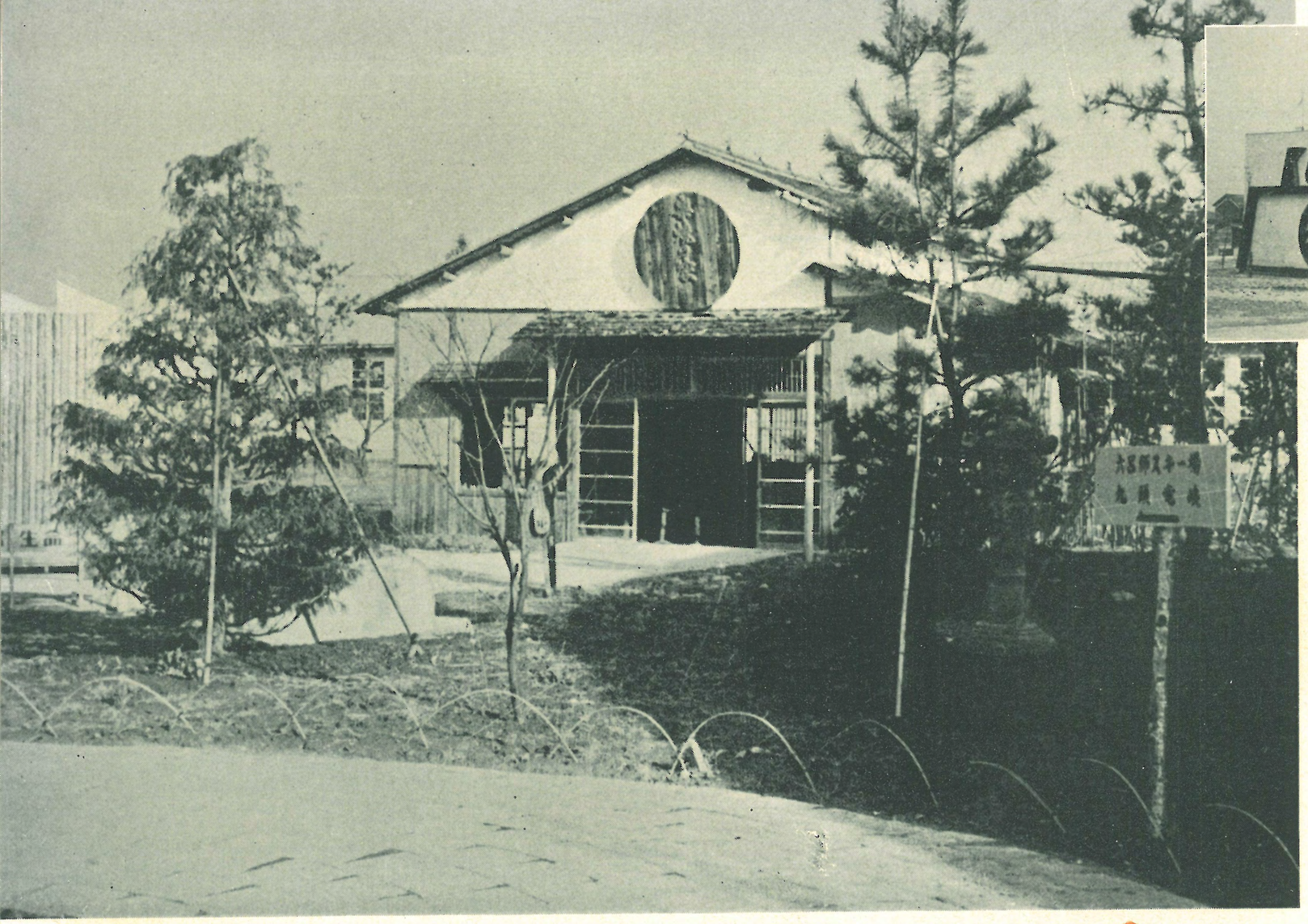
- 繊維の日本 —— （前頁）
- 繊維の知識 —— 生きた繊維百科辞典（写真 上左）
- 糸から織物へ —— 興味あるモデル工場
- 繊維の機械 —— 新型ミシンだけでも300種
- 繊維ホール —— （写真 下）
- 繊維の展望 —— 全国特産織物を一目に
- 織物デパート —— よい品を安く、おみやげに

繊維ホール

二階建の珍しい円形の建物——全国知名商社の出品による優秀センイ製品を世界の衣生活に直結して美しく陳列されてある。五彩のネオンの下さながら世界風俗の縮図ともいうべき絢爛たる大ホールである。

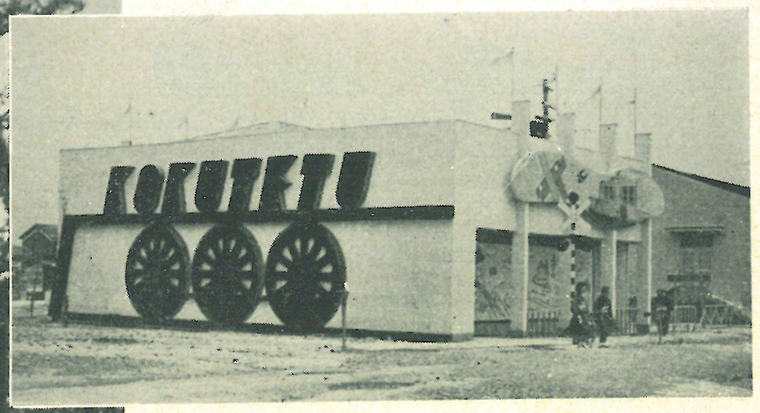


繊維ホール舘内と飾付



楽 燒 の 家

今日の訪れの記念に、想い出に、自ら絵筆をとつて茶碗や灰皿に描く文字や絵——粋をこらした茶室で喫する一服の茶の味も亦忘れることが出来ない。（写真 上）

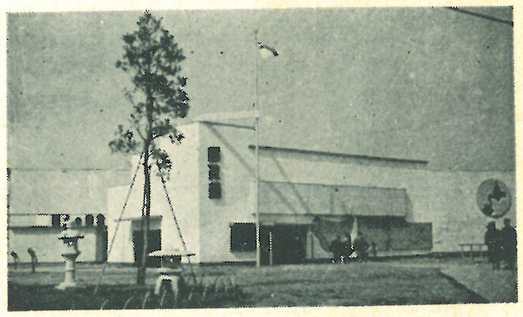


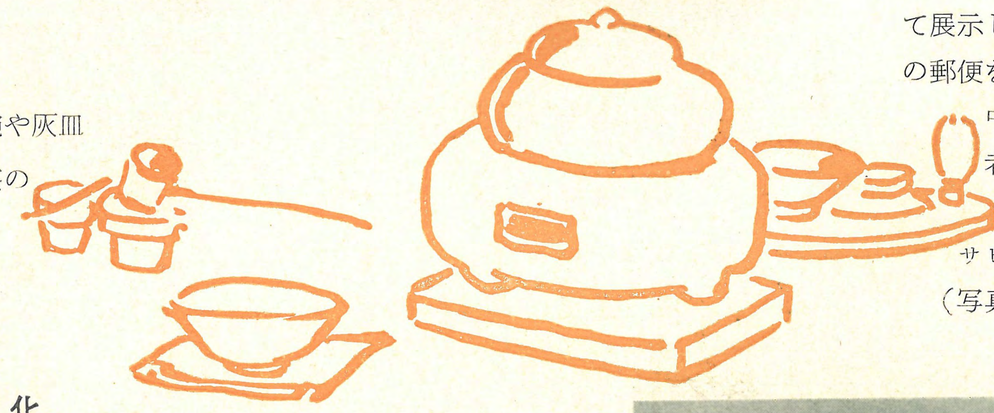
国 鉄 館

国鉄自慢の豆機関車をはじめ、各種の貴重な資料がずらり——つい汽車に乗つて旅行したくなるたのしい館内（写真 上）

郵 政 館

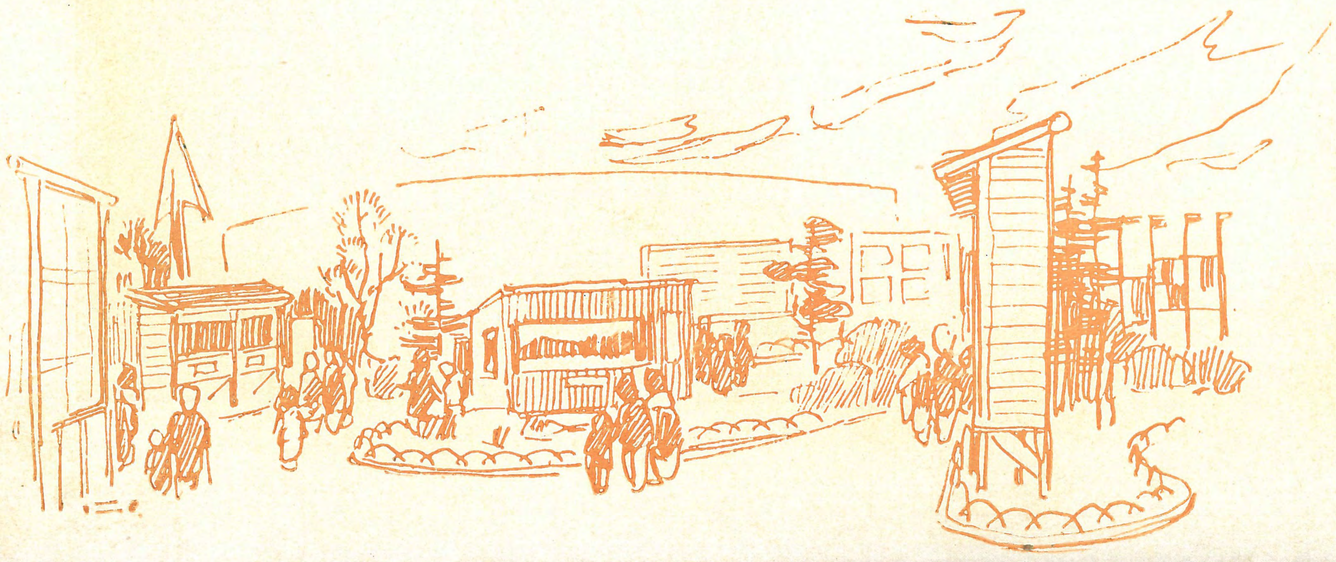
世界をつなぐ平和の使途——ユウビンの果すいろいろの使命を面白くジオラマパノラマとして展示し、声の郵便を会期中希望者に無料でサビース（写真 右）



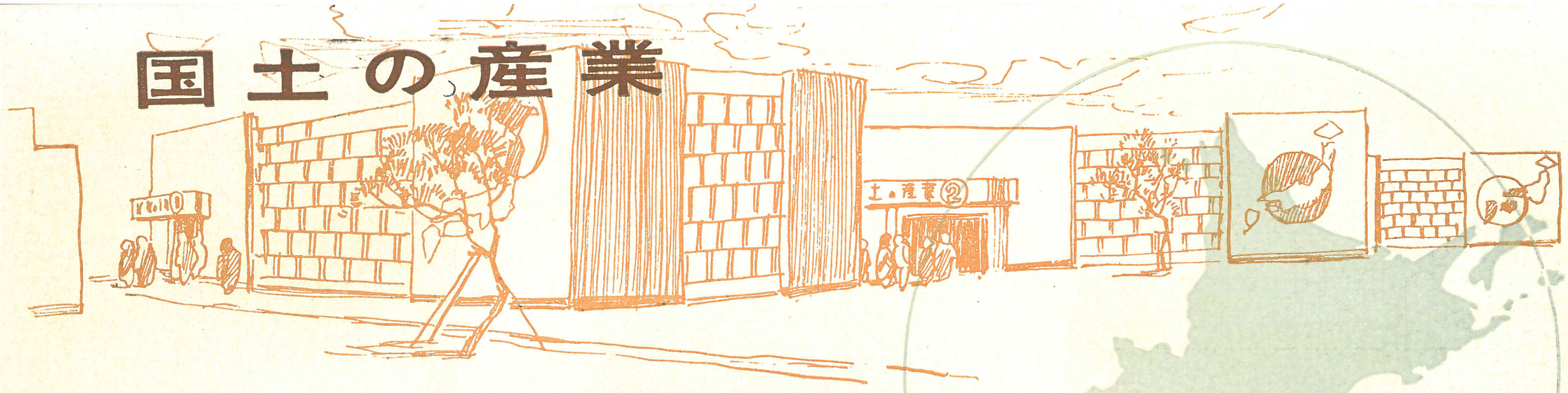


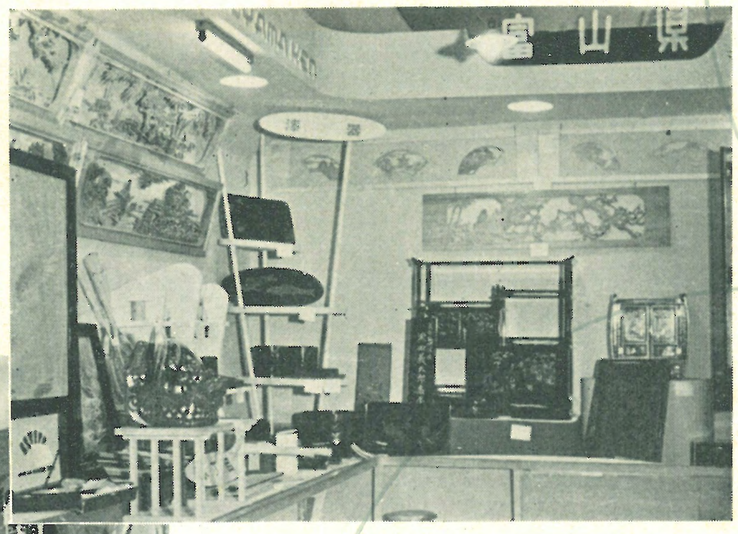
生 活 と 文 化

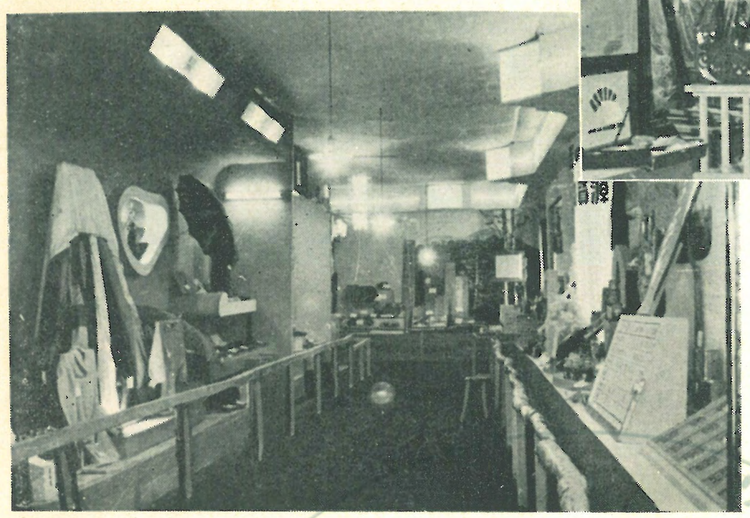
第１会場の中央に位置するシークな建物、文化日本建設のために、最も身近かで切実な諸問題をとり上げ、新しく正しい知識を与えるこの館は、われわれに益するところが大きい。 （写真 右下、カットは観光ガーデン）



国土の産業



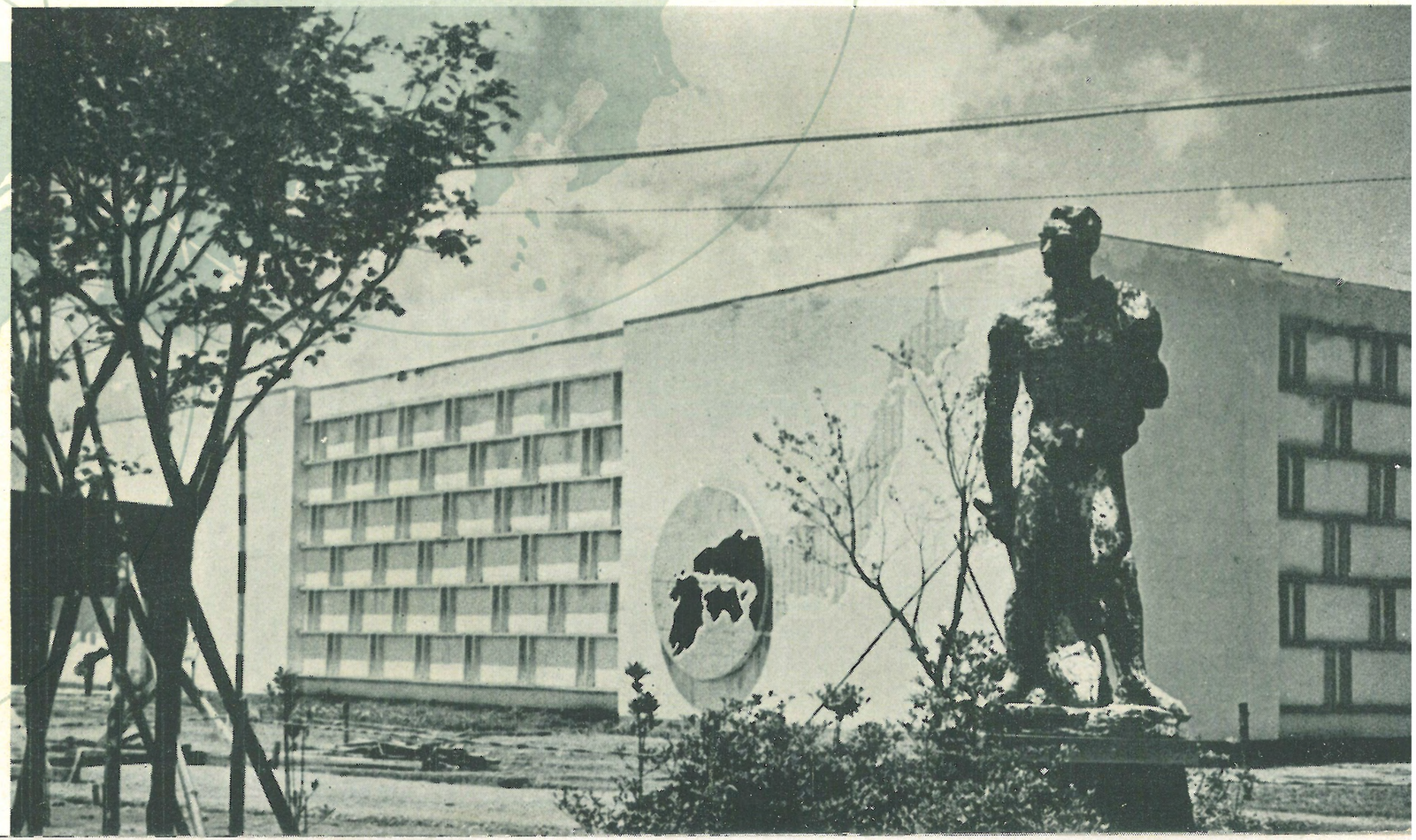


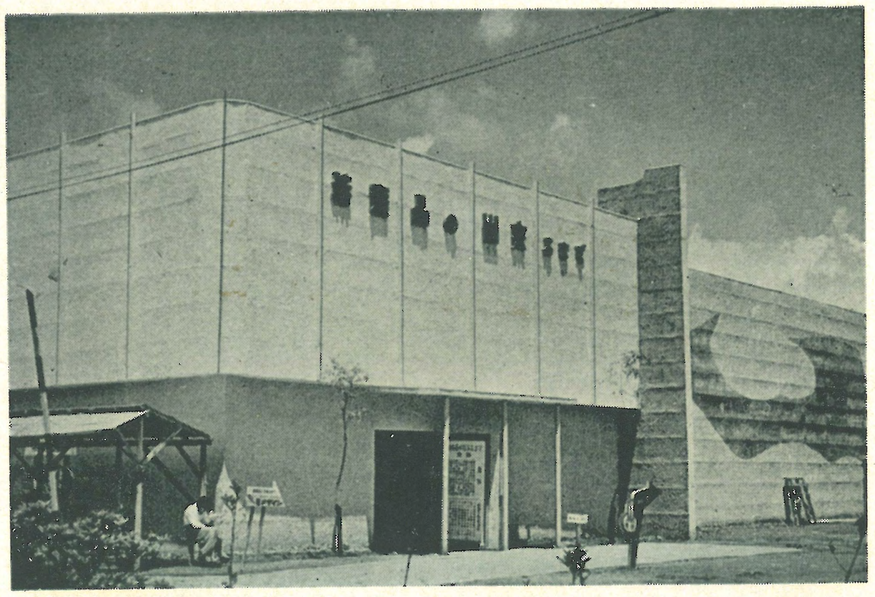


国 土 の 産 業

従来の博覧会では〃府県舘〃とか〃全国舘〃の名で呼ばれていた施設――その名も〃国土の産業〃と呼び、内容も亦、観光地その他各地のローカルカラーを背景として、それぞれの特産品を展示。日本を三分して東日本、中部日本、西日本の三舘におさめ、いそいで歩けば30分で全国旅行が出来るというもの。

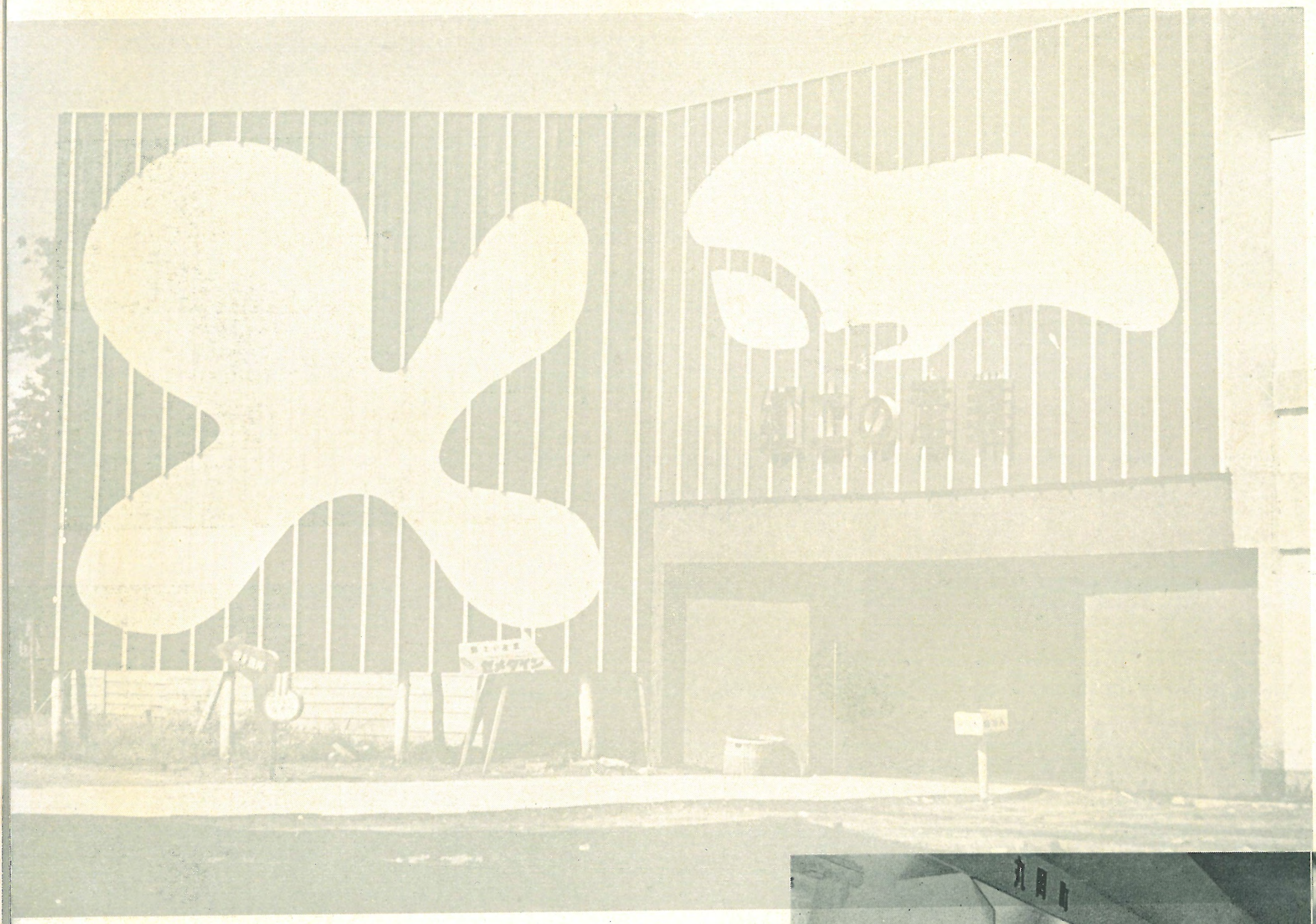
（写真　下は外観　中 三枚は内部　カットは外観の全景）





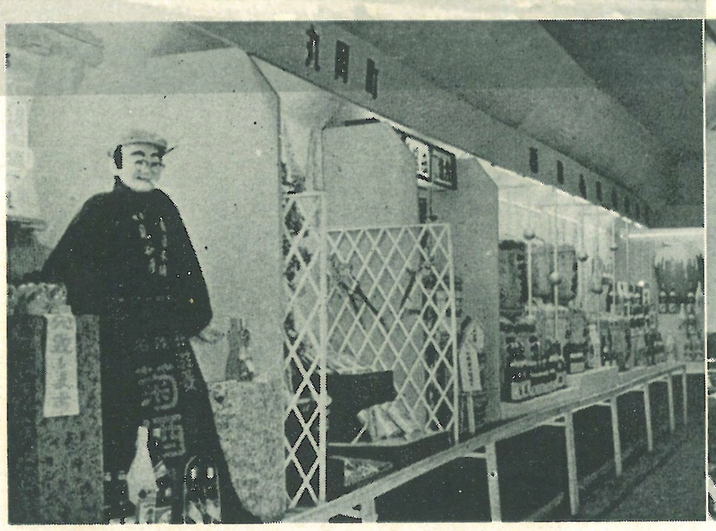
特産品の出來るまで

代表的県内特産品をとり上げ、その製造工程を実演し興趣を添え内外に紹介する。（写真 右）



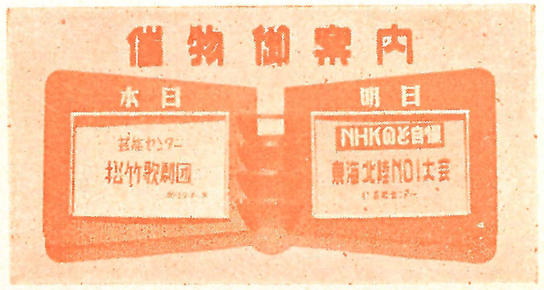
郷 土 の 産 業

繊維関係以外の福井県内の生産品を陳列して産業復興の実情を紹介し、その品質改善、生産拡充に資している。（写真 下）



芸能センター

無慮3000人を収容する豪華なシアター、福井博の想出として忘れられないものの一つである。
ここでは連日、日本一流の芸能人を網羅する豪華演芸、NHKおなじみ番組の実演等プログラムは盛沢山に仕組まれていて、会期の短いのを惜しまれたところである。



美空ひばり大いに唄う

笑の王国　浪花演芸会

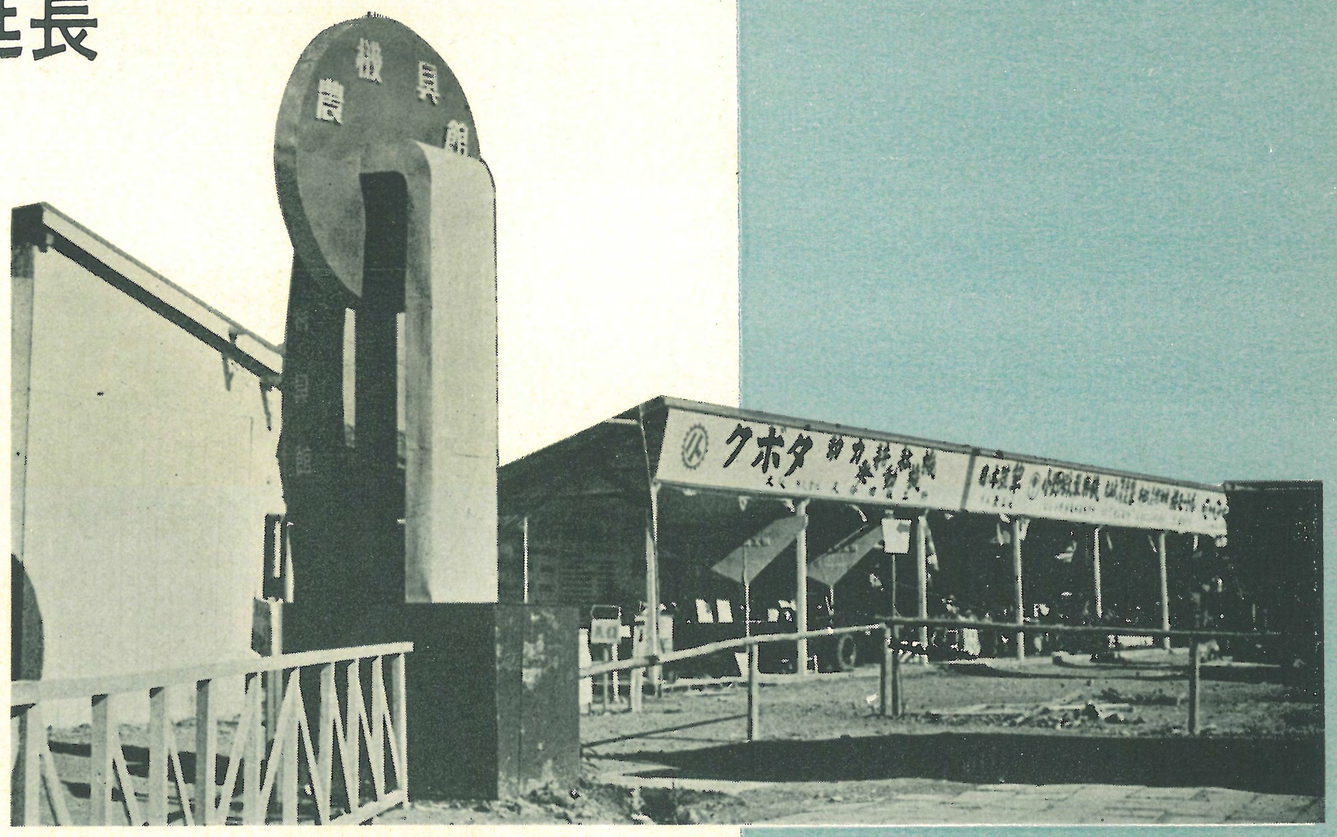
福井美妓の舞踊

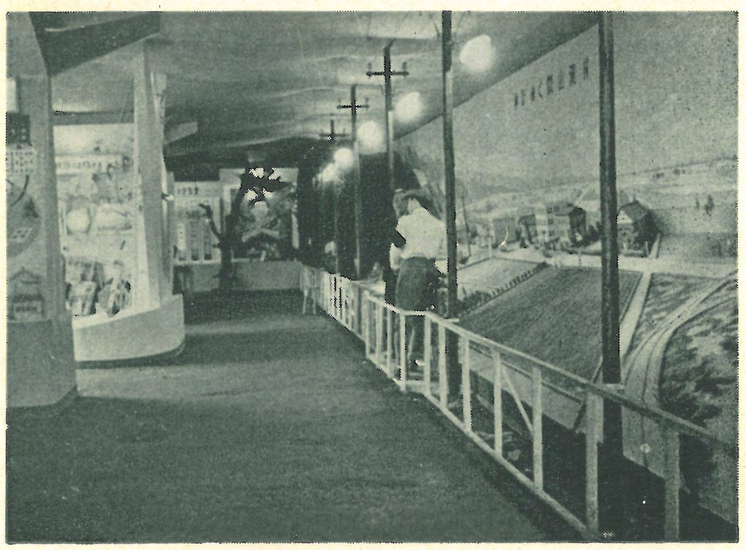
絶讃！好評！会期十五日間延長

農村の機械化

従来の博覧会で農機具舘として造られるのは、通称馬小屋と謂われる程粗末な施設であるが、今回の福井博では農林機械化の重要性に鑑み、五百坪の敷地に本格的の陳列場を設け、多彩な農機具展を開くと共に、会場中央広場を実演場として、毎日全国有名メーカー出品の農機を実動して農村からの観客の眼をたのしませた。

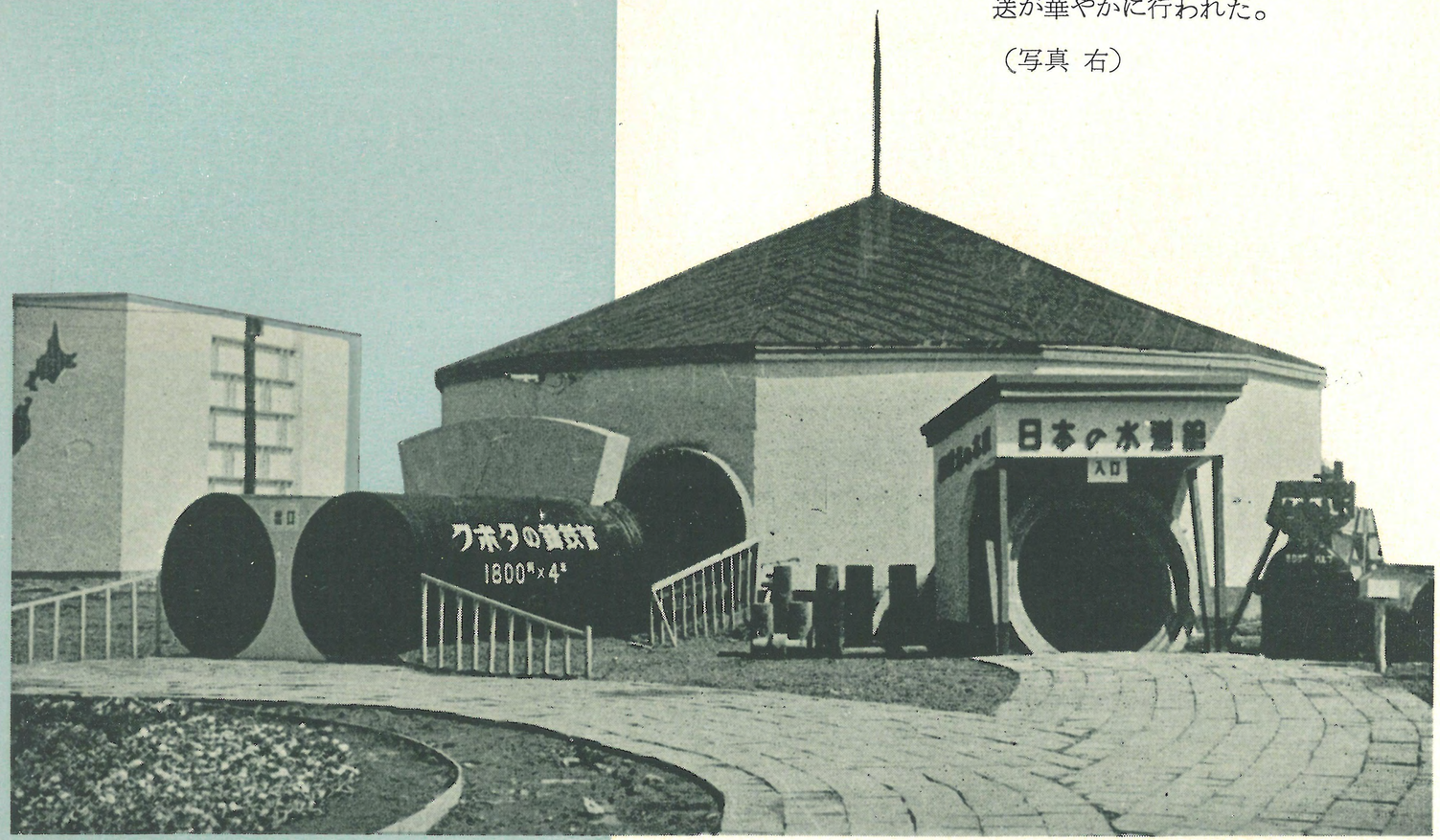
（写真 右二枚 下の中央は三笠宮）





自然の恵み

山の幸・海の幸——農林水産の全貌を描き出しその加工製品、関係器具資材等を紹介する。農山漁村の人達にとつて生きたテキストであり、たのしい夢の数々でもある。　（写真 左）

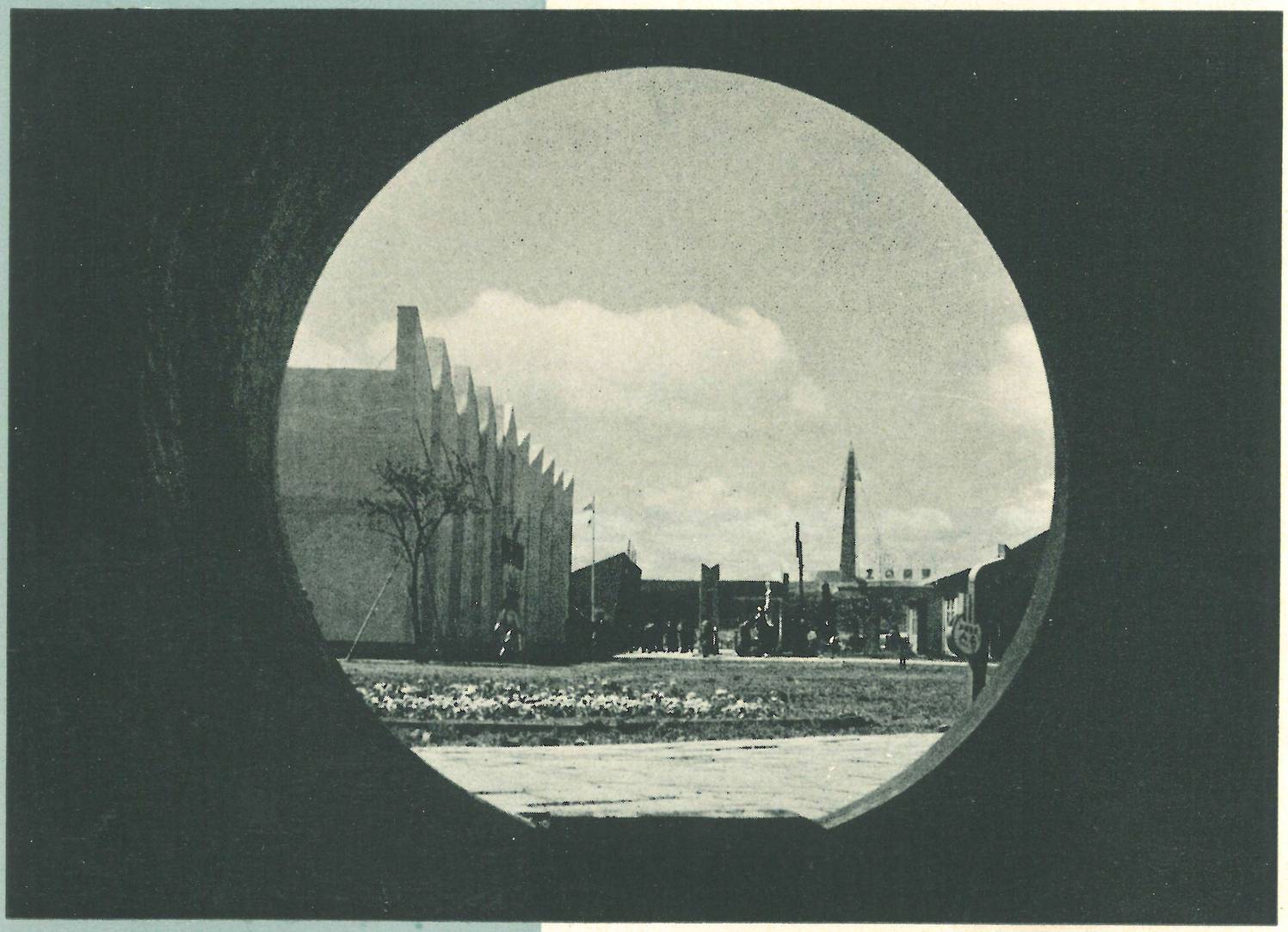


電波の世界

NHKの協賛出品を中心とする放送文化の知識の泉で、会期中テレヴィの実験放送が華やかに行われた。

（写真 右）

会期七十七日間・入場人員八八六、八〇一人



水道舘入口より場内を望む

日本の水道

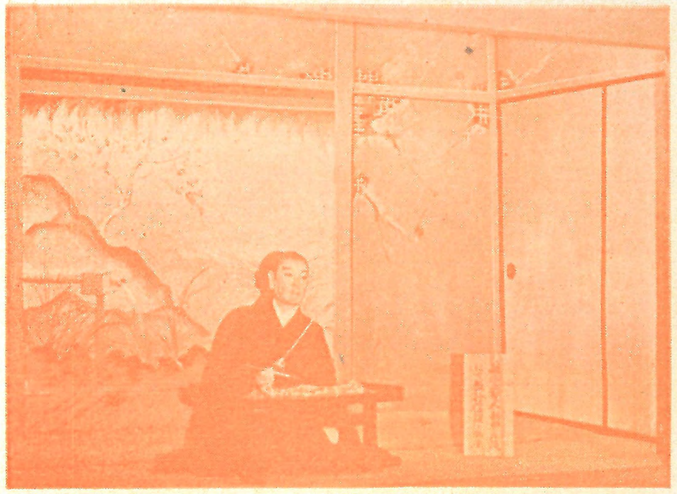
これも又全国で初めての特異な施設——大ヒューム管をくぐつて円型の地下室へ入ると、我国の上下水道の現況、全国から蒐集した新機具、諸材料が一目でわかり、階段を上ると出口はこれ又巨大な鉄管——これは珍しいと大好評。

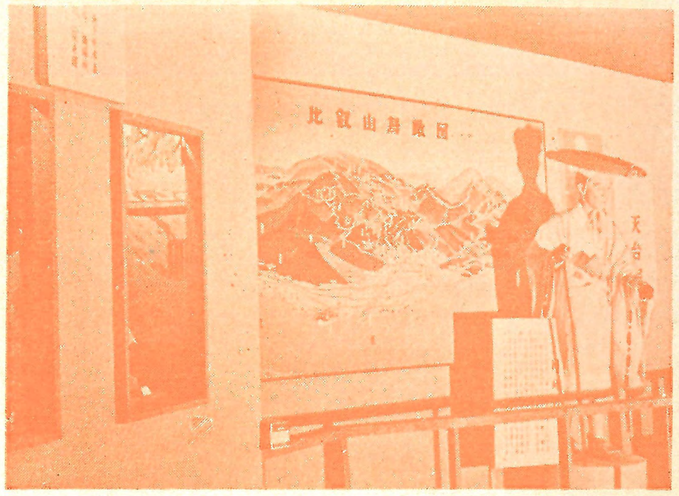
（写真 左）

仏　教　館

仏教王国福井のシンボル —— 仏教館では釈尊の御一生、親鸞聖人、蓮如上人の御一代、各宗各派の教義の紹介、史的展望、はては門外不出の寺宝や貴重な参考品が陳列されて、まさに善男善女の法悦境であつた。

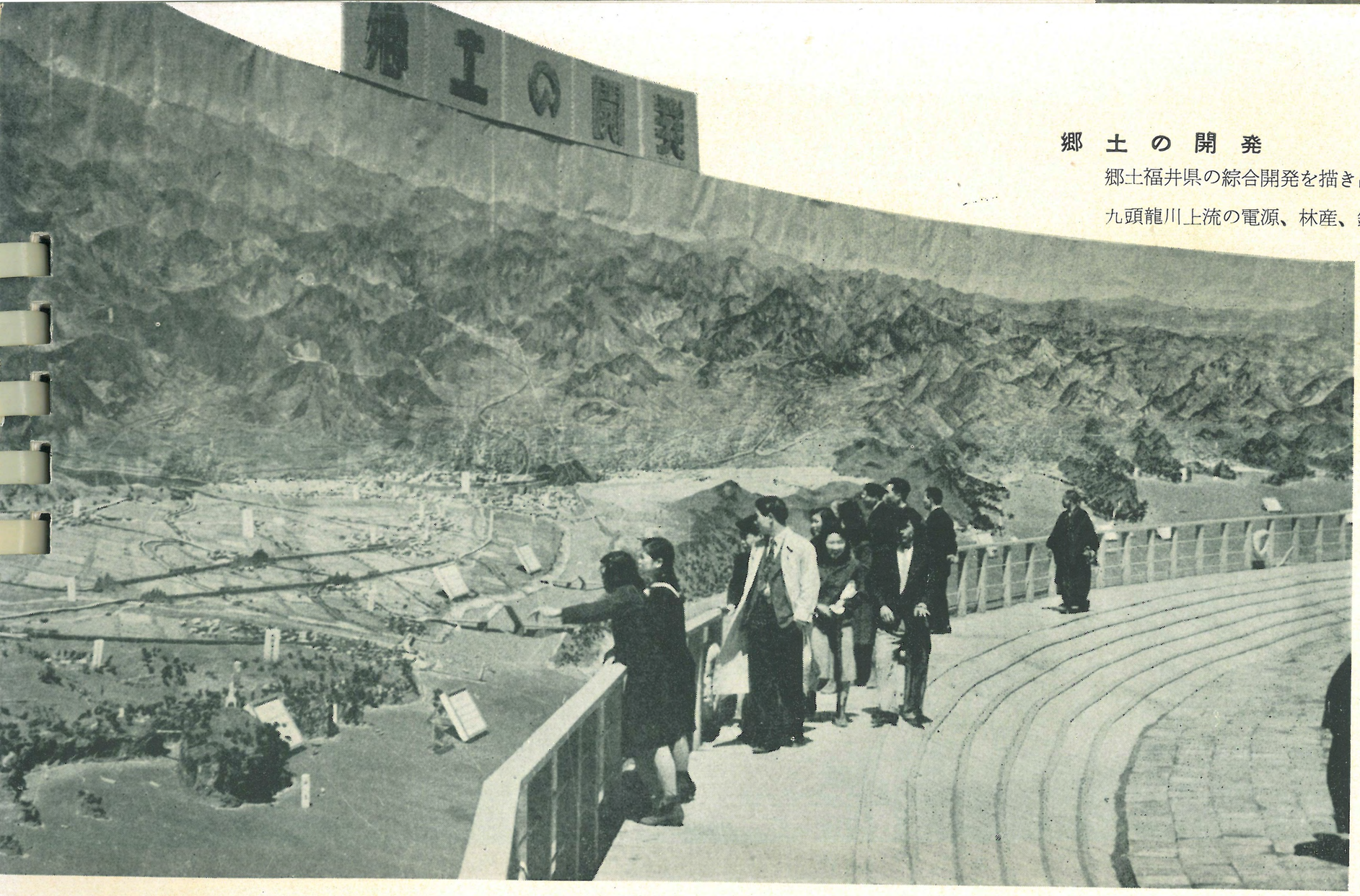
（写真 上三枚）





道元禅師奉讃館

開祖禅師の七百回大遠忌が大本山永平寺に於て厳修された。この遠忌を奉讃するため、御本山出品の国宝、寺宝、古文献の数々を陳列し、新様式によるジオラマや、図表等を配し禅師の御事蹟をしのぶなど、福井が誇る名刹の全貌を紹介し、精神文化の昂揚に資する処が多かつた。（写真 下三枚 中央は三笠宮）

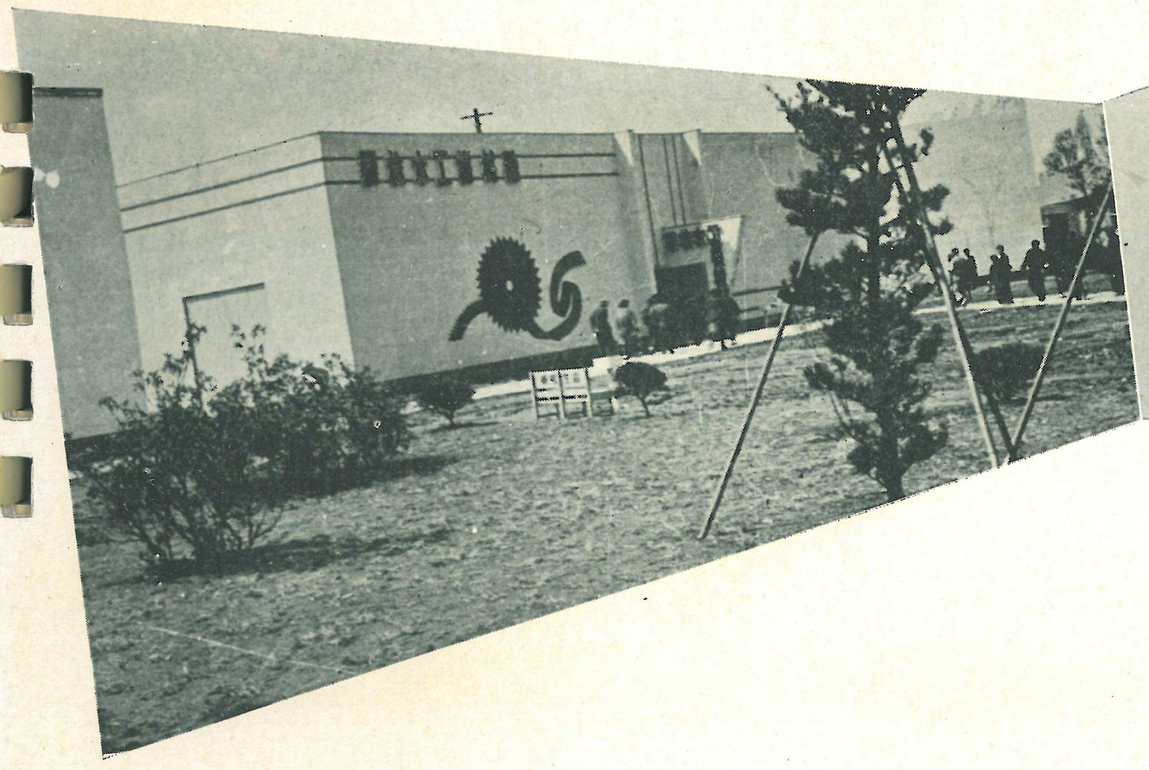


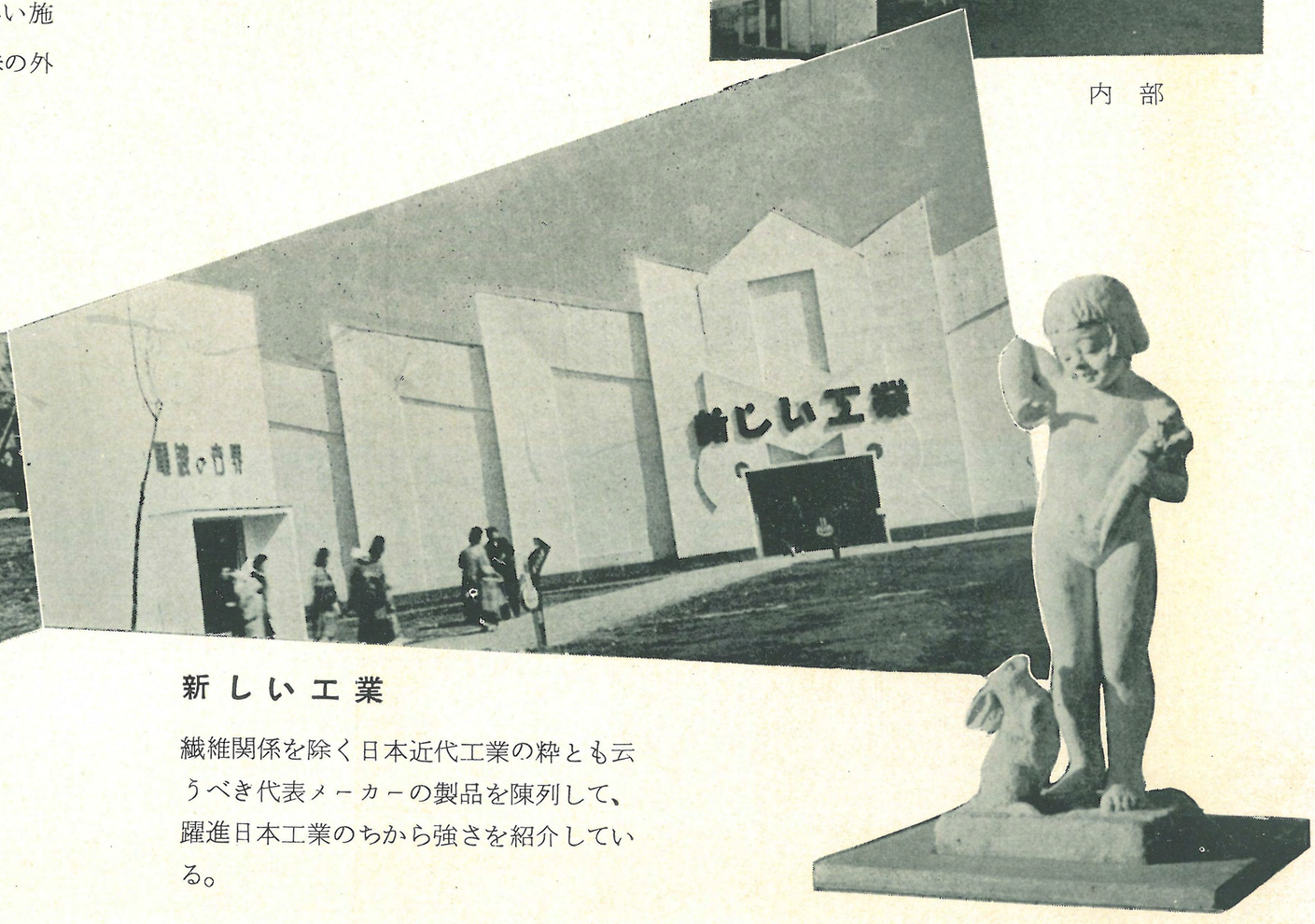
郷 土 の 開 発

郷土福井県の綜合開発を描き出した幅150尺の一大オープンパノラマ——九頭龍川上流の電源、林産、鉱業、観光等の資源開発と、治山治水、利水による越前平野の乾田化、食糧増産計画、越美線の開通をはじめとする交通施設計画、武生市を中心とする特産工業の発展、敦賀湾の建設、嶺南三方五湖及び若狭湾一円を包含する国立公園の実現など、あらゆる福井県民の夢が完全にこの大パノラマの中におさめられている。

内 部

製材木工機械舘　これも今度の福井博で初めて生れ出た新しい施設の一つ——一般に縁遠い機械だけに殊の外観衆の目をひいた。





新 し い 工 業

繊維関係を除く日本近代工業の粋とも云うべき代表メーカーの製品を陳列して、躍進日本工業のちから強さを紹介している。

開　会　式

ふくいおどり

ミス福井選定

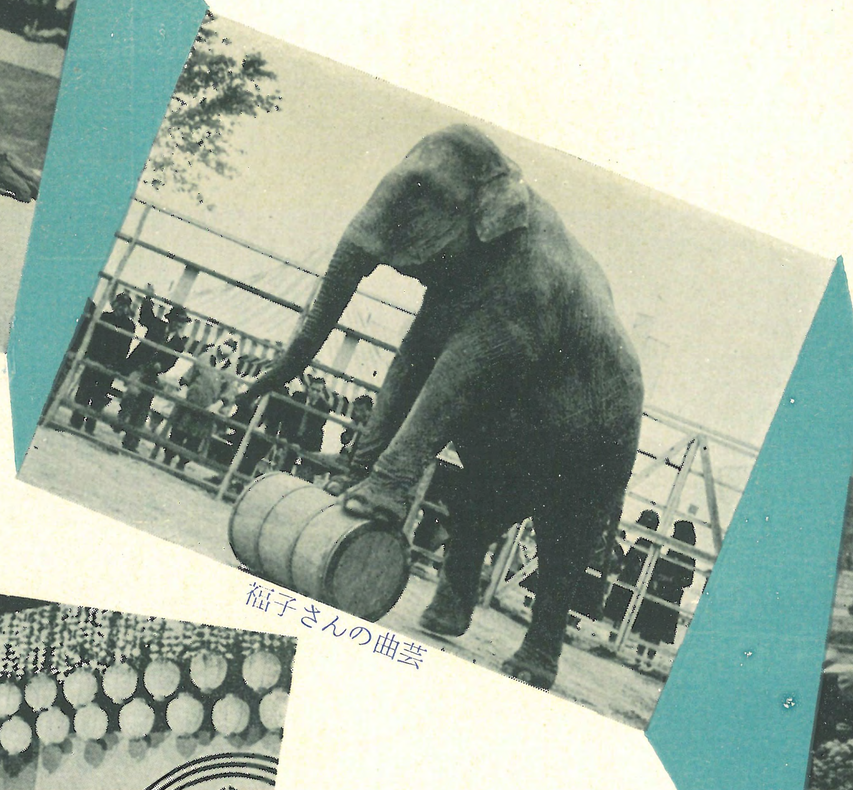
盛沢山な催物に連日の賑い

前売抽籤会

漫画大行進

オートバイの冒険

ジュージー嬢来る



福子さんの曲芸

閉会式

写真コンクール

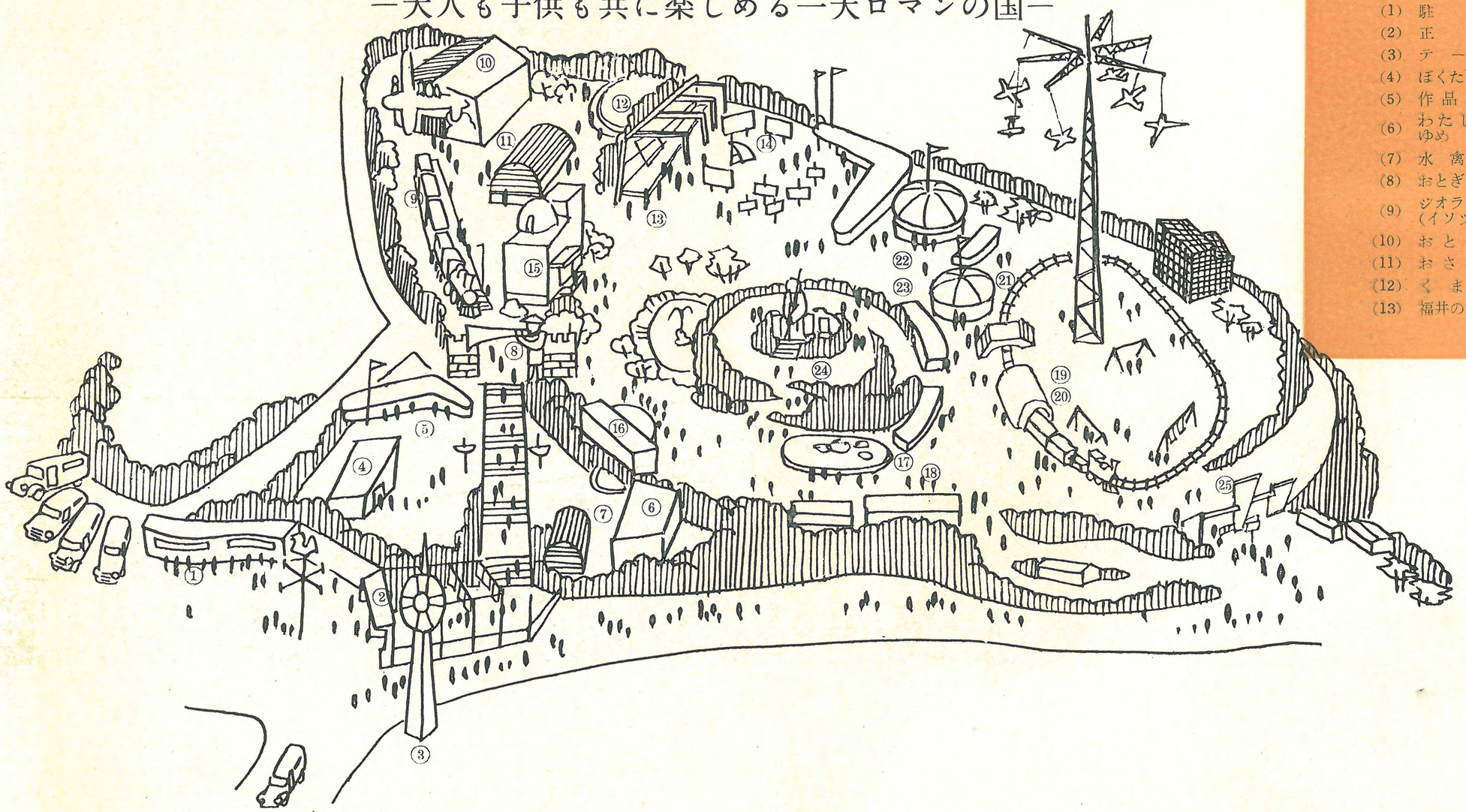
サーカスの公開

福引抽籤会

漫画デー

花とみどりに圍まれた 第二會場 （足羽山公園）

—大人も子供も共に楽しめる一大ロマンの国—



(1) 駐車場
(2) 正門
(3) テーマ塔
(4) ぼくたちのゆめ
(5) 作品展示場
(6) わたしたちのゆめ
(7) 水禽の家
(8) おとぎの国正門
(9) ジオラマ（イソップ列車）
(10) おとぎの国
(11) おさるの島
(12) くまの家
(13) 福井のでんせつ
(14) まんがのくに
(15) 郷土博物館 天文台 展望台
(16) 野外ステージ
(17) うさぎの国
(18) 売店
(19) 子供の国飛行塔
(20) 子供の国豆汽車
(21) メリーゴーラウンド
(22) あそび場
(23) おもちやの楽団
(24) 継体天皇石像
(25) 出口

天然の絶景につゝまれた 夢の世界・こどもの天国

人智の限りをつくして豪壮華麗に飾られた産業と世界文化の第一会場に対し、花と緑につつまれた福井市の自然公園足羽山三段広場一帯を会場として建設された第二会場はほほえましい夢の国、楽しい子供の天国と言えよう。

正門とテーマー塔

風光絶佳！越前平野を一望におさめて

豪壮な建物・充実した内容
屋上から眺める雄大なながめ

郷土博物館

―福井復興博を機に完成公開―

郷土博物館

郷土博物館内生態陳列

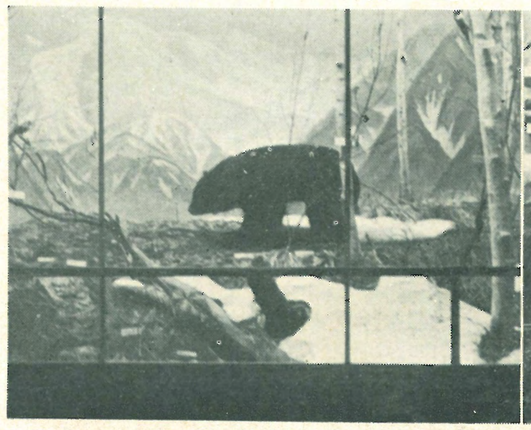
博物館展望台上の三笠宮

郷土博物館

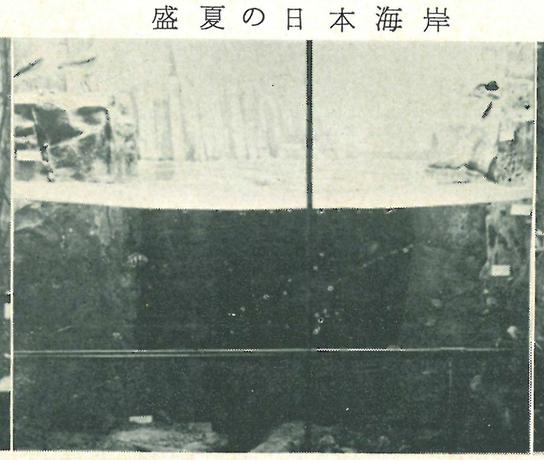
ここは、郷土の考古学的資料、人文、自然に関するあらゆる参考品が陳列されてある永久的文化施設。屋上には六インチ屈折天体望遠鏡を有する天文台及び展望台が付設されている。

足羽の山頂にそびえ立つ鉄筋コンクリート三階建の華麗な建物、風光絶佳、越前平野を一望におさめ、銀嶺白山連峰を遠望する雄大無比な眺め……福井市民の夢の実現ともいうべきこの施設は、第二会場の一大偉観たるは勿論、全国でも稀れな文化施設の一つとして好評をはくした。

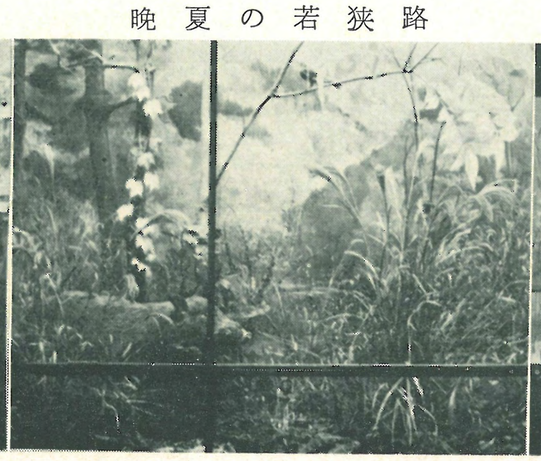
早春の奥越



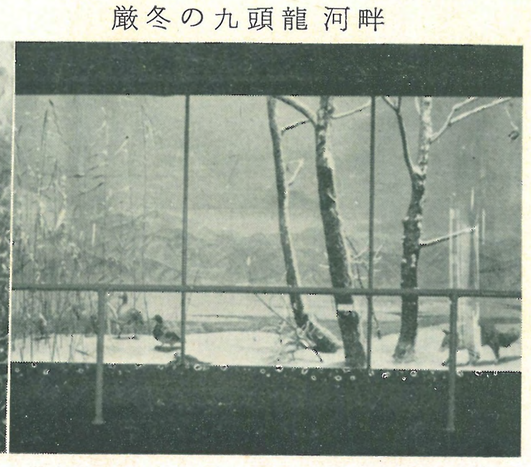
盛夏の日本海岸



晩夏の若狭路



厳冬の九頭龍河畔



三笠宮さま

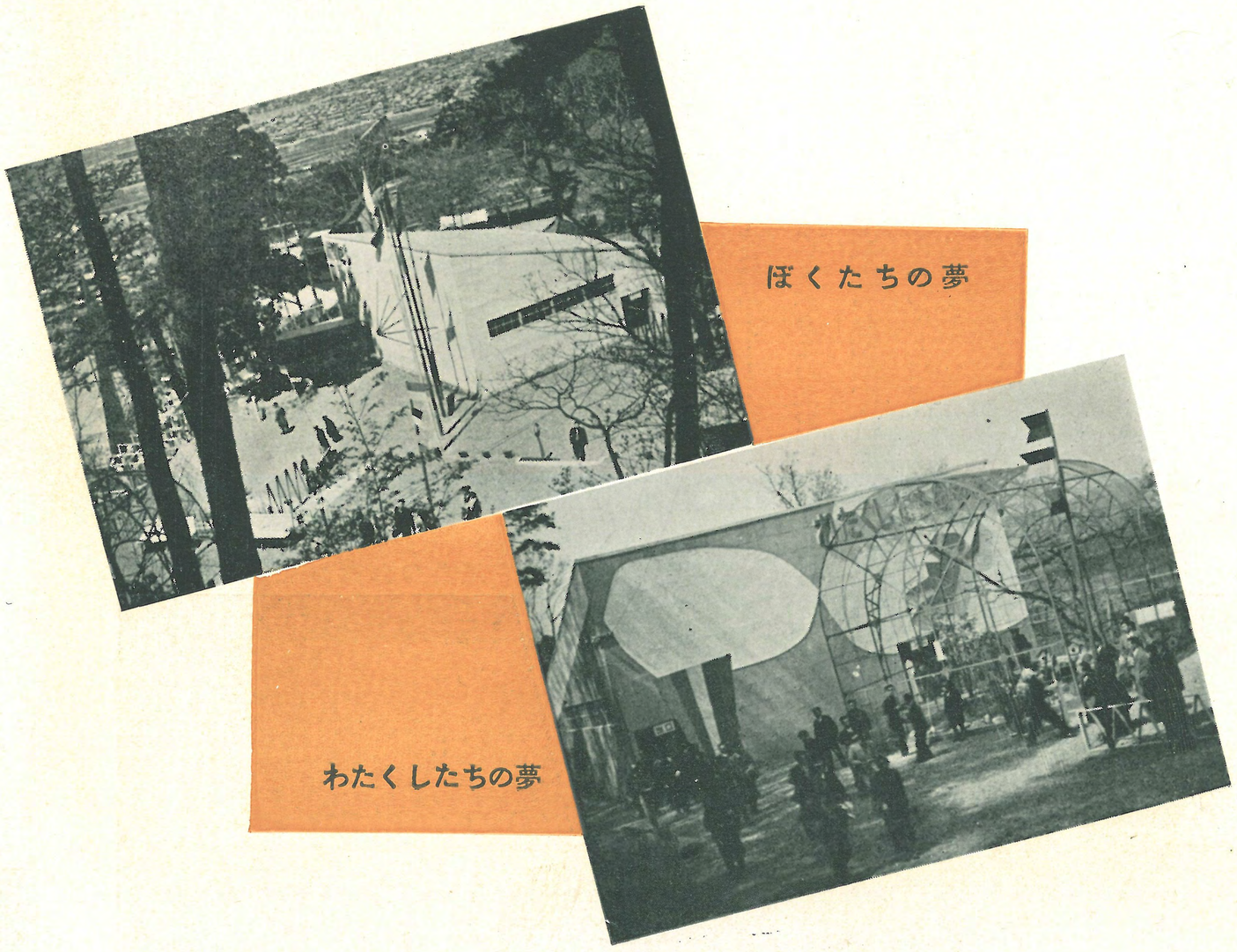
「全國第一級」の折紙

各界の絶讃をあびる福井博

復興博開場以来、全国各界の名士権威者が続々来観され、いづれも口を揃えて驚嘆、事務局ではその応接と案内に大童だつたが、永平寺で営まれる大正天皇、貞明皇后追恩御法要に御参列並に福井県市の復興状況御視察のため御来福の三笠宮殿下には、震災直後に天皇陛下の御名代として御来市あり、つぶさに当時の惨状を御視察あつただけに、福井市の復興再建については殊の外御関心深く、今度の福井博にも早速御来観あり、二日間に亘つて第一、第二会場共御熟覧された後、記者団との会見で次のように感想をのべられた。

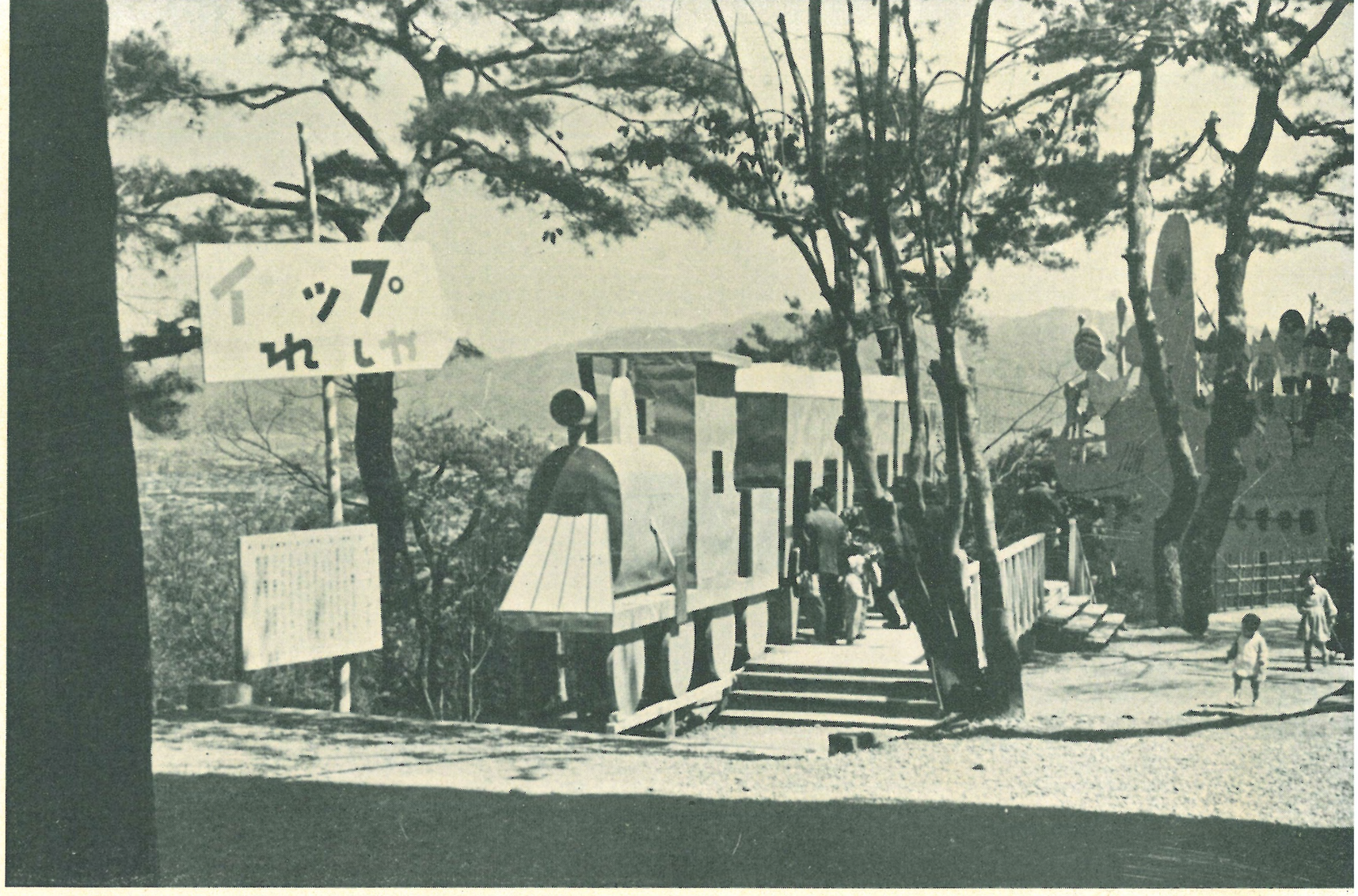
「とてもよかつた。全体にムダがなく順路もうまくつくられている。いままで見た博覧会では一番よかつた全国的に見て第一級ですね…」

第二会場御到着の三笠宮



博物館おとぎの国への人波

おとぎの国入口



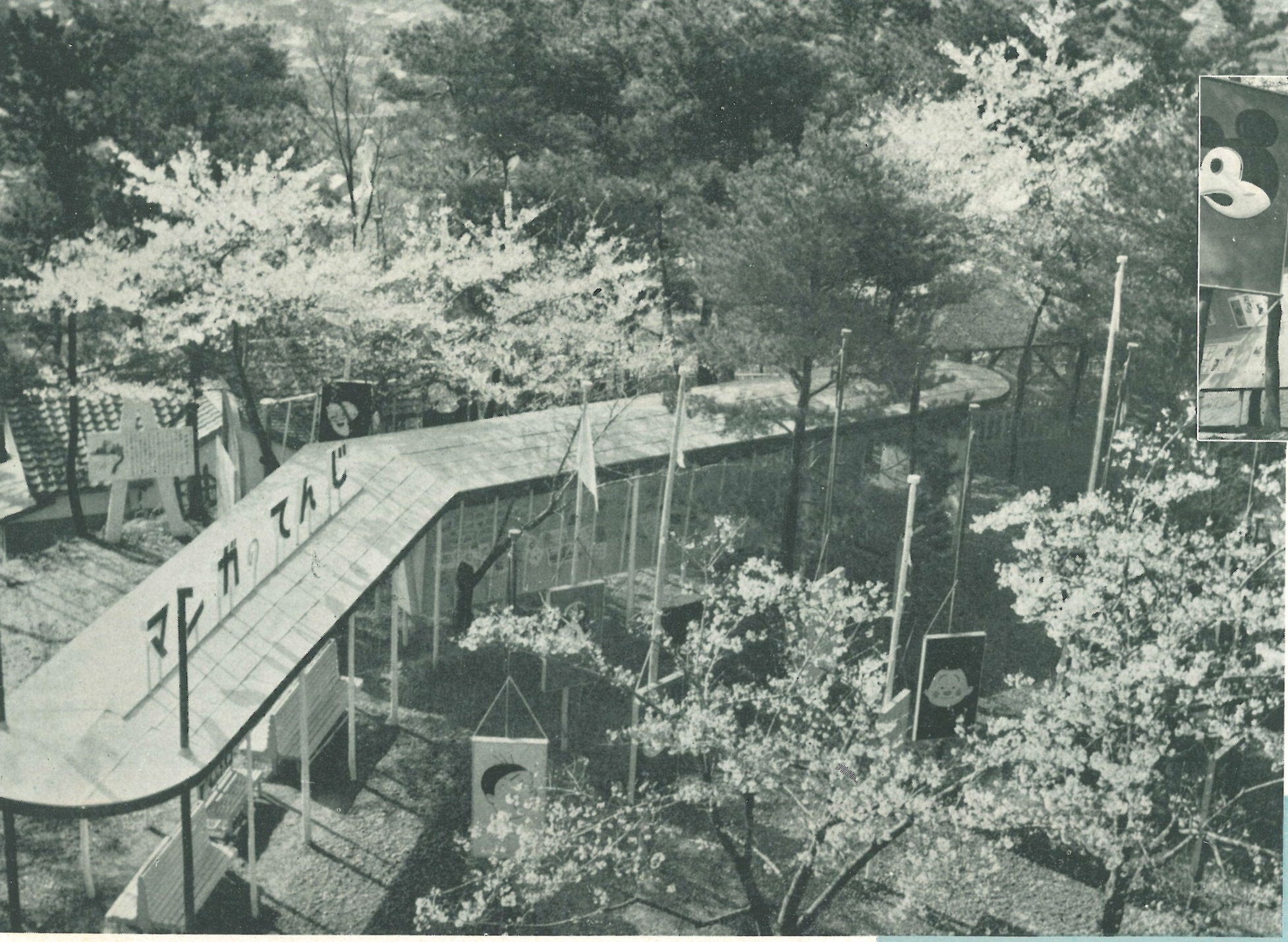
イソップ列車

福井音頭

西条八十 作詞
中山晋平 作曲

箕の音から　福井は明けて
のぼる朝日の　日本海
チャツカラ チャツトン チャツトントン
ホラ チャツカラ チャツトン チャツトントン
おらが福井で　織り出す絹は
六十余州の　晴小袖
（くりかえし）
河は九頭龍　男は左内
波は天打つ　東尋坊
（くりかえし）

おとぎの国飾付



まんがの国

作品展示場

會場の展示法

については、こんどの福井博では、従来あり勝ちな興行的ゆき方や、各館乱立的な方法を一擲し、テーマー主義的展示法を採り、第一館より最終館に至るまで一定のテーマーの下に良心的内容を盛り、観衆に負担と疲労を感じさせないように而も有益に見物出来るよう計画され、更に又専門的に見ても水準の高いものにつくられている点、戦後の日本に初めてみる最高の良心的綜合博としてこれ又好評の的になつた。

また会場内で観客に大変よろこばれているものに、第一会場の歩道がある。これはすべてコンクリートブロックを敷きつめ、雨が降つても、足元をよごさず順覧出来る点、日本で初めての試みで福井博の自慢の一つ、更に三百坪の本格的シアター「芸能センター」を始めとしてすべての催物に「中銭」を取らない福井博は良心的で犠牲的だと、これ又好評さくさくであつた。

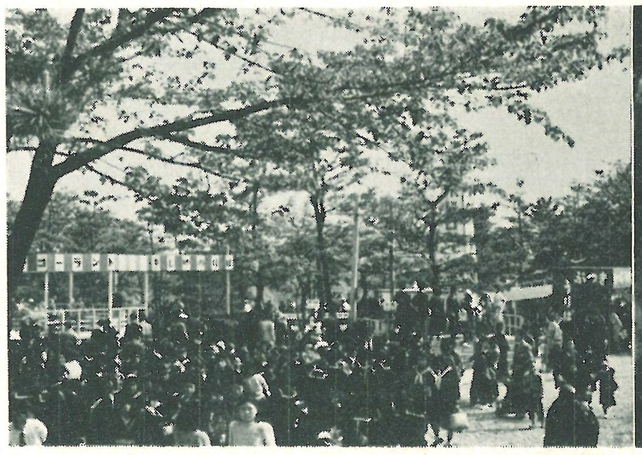
おもちやの楽団

継体天皇石像

飛行塔

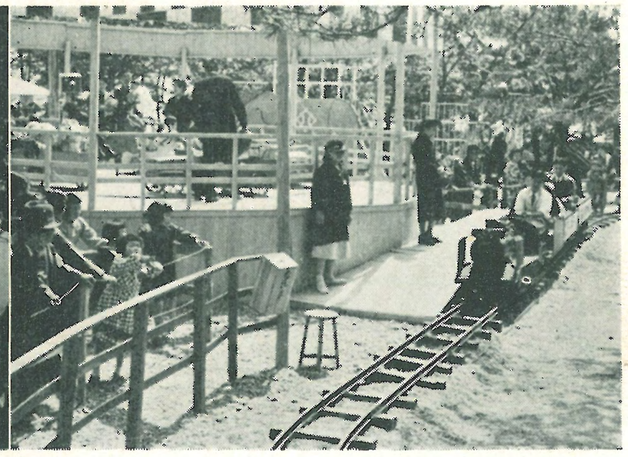
福井復興博は、平和条約を記念し、名利大本山永平寺に於ける開祖道元禅師七百回大遠忌を卜し、数次の災害から見事に起ち上つた福井市を中心とする福井県一帯の復興に対する感謝の意を天下に表明すべく、福井県、福井市の復興状況並びに各種産業、就中全国繊維産業躍進の現況を広く世界に紹介し、国運の進展に寄与するため開催されたものであるが、その規模に至つては、経費二億五千万円、出品総数百万点、その額実に二十五億という尨大なもの。更に又会場施設五十余舘、まことに戦後の日本で開かれた博覧会中最大のものと言えよう。

福井大学の新旧敷地三万坪を会場として、一切の産業、あらゆる文化の粋をあつめて展示する華美絢爛の第一会場に対して、天然の絶景につつまれた足羽山三段広場に展開する夢の国第二会場前者は人智の限りをつくしたリアルの世界、後者は大自然の描き出すロマンの国、この二つの会場が巧みに組み合わされて完成した福井復興博は、老若男女を問わず心から楽しめる博覧会として好評をはくした。



雑踏する広場

野外ステージ

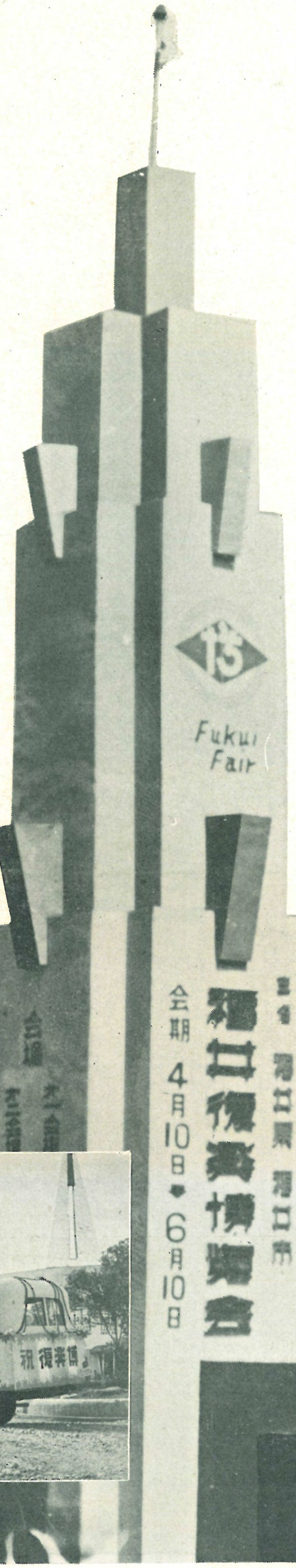


汽車豆

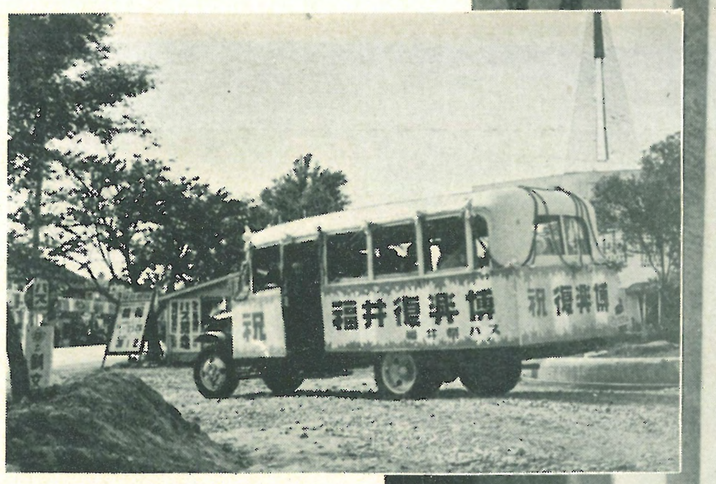
物心両面に亘って万全の受入態勢

来観者へのサーヴィス完璧

初夏は招くたのしい福井への旅



まづ**福井市**では博覧会の観客及び永平寺参拝客の受入れに当つて全市民の商業道徳並にサーヴィス精神の昂揚運動を企画し郷土福井に関する知識、市民としての心得等を集録した「私たちの手帳」を発行し接客業者旅舘業者交通関係者を始め各種職域団体毎に講座を設けて之が普及宣伝につとめた。これに呼応して**福井商工會議所**では博覧会を機に売出される郷土名産品の検査や品評会を行う一方優良商店の審査登録を行つて商業道徳の発揚に一段の拍車をかけた。



先づ衛生を

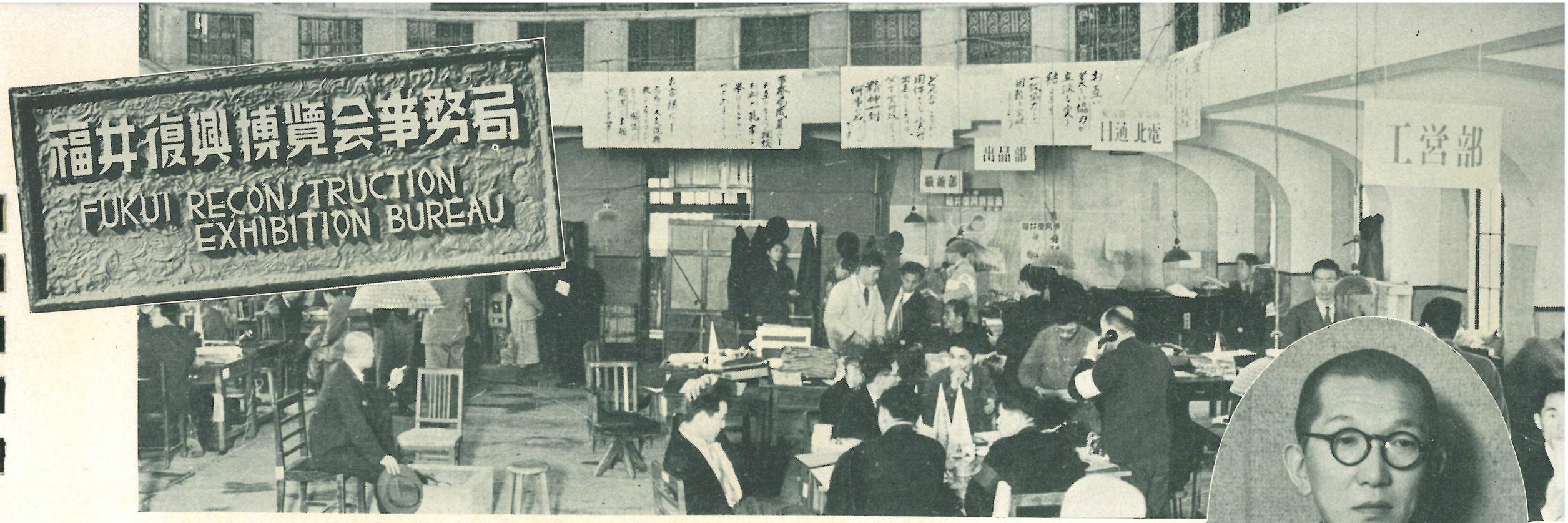
又お客を迎えるのにはまづ「街をきれいに」と**市衛生課**では市内の大清掃を実施し特に塵芥の処理公衆便所の清掃に力を入れた。

一方**保健所**では防疫春の陣を布き浴場の実態調査を行う等衛生の完璧を期した。

市内各所に休憩所や案内所

会期中来客の便を図るため博覧会事務局ではサーヴィス部を設け諸般のサーヴィス方法を計画すると共に、福井駅前、第一第二会場前に直営の「福井復興博案内所」を設け、博覧会に関するあらゆる相談に応ずる態勢をとつた。

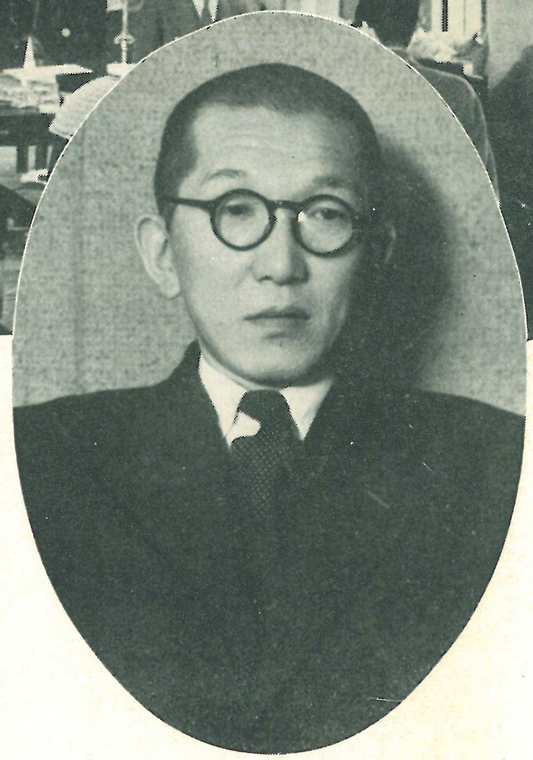
尚この三カ所には日赤の協力を得て夫々救護班を付設し、更に又市内数カ所に無料休憩所を設け湯茶の接待をする等遠来の客へのサーヴィスの万全を期した。



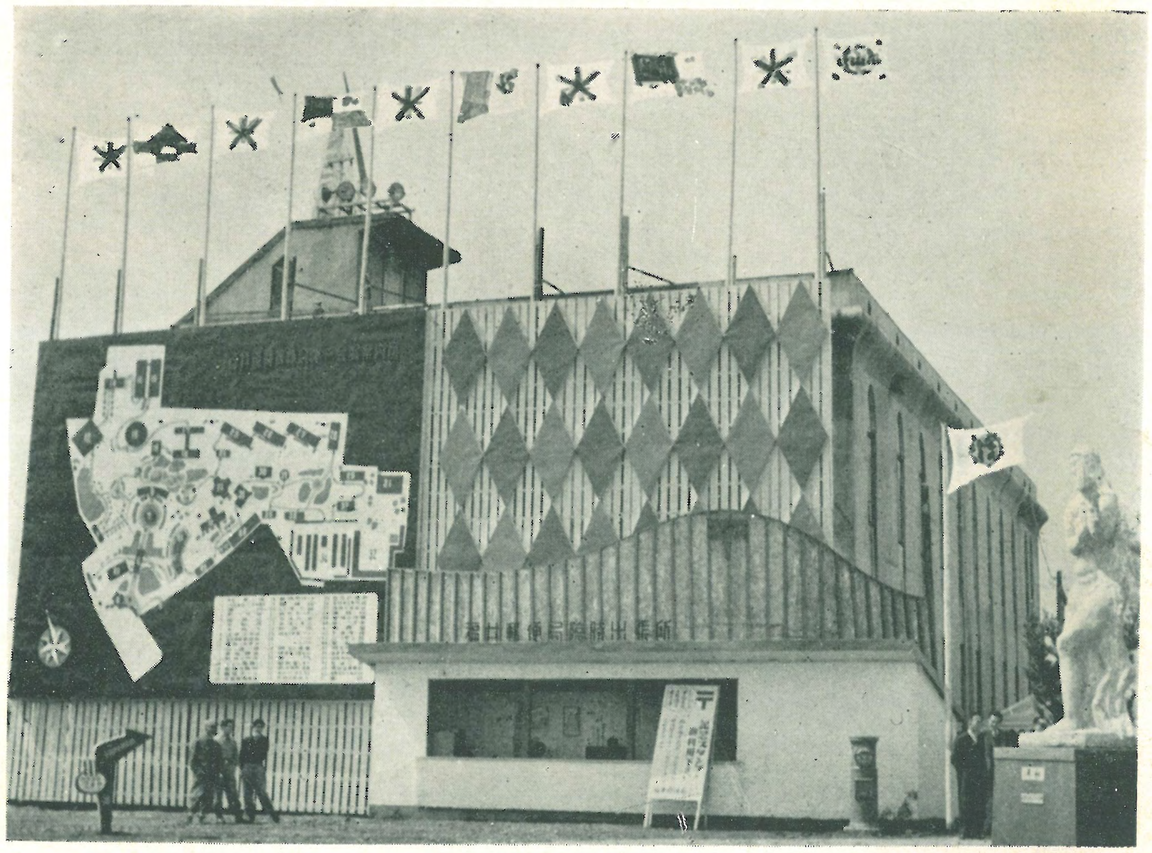
てんやわんやの事務局

事務局役員名列

事務局局長		北川正一
総務部部長		上出清一
	副	馬来田善充
	〃	小林秀雄
	〃	村田明頼
宣伝部部長		藤田末永
	副	緑川久雄
事業部部長		田島正忠
	代理	巨橋佐久馬
	副	梯小三郎
工営部部長		野村実
	副	竹内隆
管理部部長		上出清一
	副	田村十弥雄
交通部部長		西利一
	副	中島保
サービス部部長		田中政次郎
	副	芦田清太
出品部部長		森欣吾
	副	佐々木鉄郎
	副	内山富
繊維部部長		勝山政俊
	副	安川繁男



北川事務局長



福井復興博事務局外観

ひそかに舌を巻く

北国新聞社編集総務小川捷夫氏記四月十二日付夕刊福井新聞「一日一想」欄から

博覧会ほどガサツでハッタリの強いものはない。ところが福井博へ来てみて心中ひそかに舌を巻いた。足羽山の郷土博物館を中心とした子供天国を見て「おや、これは博覧会じやないぞ」と思つた。戦災、震災、水害と、五年足らずの間に三つの大不幸に襲われた福井が、その災厄にもめげず、いやその災厄を通したと思える岩間の清水のような純一無雑な美しさを築こうとしている。これは尋常なワザではないと思つた。

この博覧会の通念を物の見事にやつつけている素晴らしい構想と気魄は第一会場で更に鮮かに描き出されている。まず一つ一つの建物が絵画的であり彫刻的である。日本ばなれしたあか抜けぶりである。現代日本の持つ博覧会の最高技術を駆使したとの言葉もうなずける。陳列の品々もケレン味のないものだつた。なかなか出来ぬことである。全く以てこんなべらぼうな博覧会なんてそうざらにあるもんじやない。戦後派と戦前派を小気味よく両立させているからである。

お世辞なしに太鼓判

近代宣伝社柳原専務

博覧会場内広告の勧誘に当つていましたが、東京あたりではさして重視もしていなかつたところ、幕をあけて内容が公開されると福井の私の宿舎に昨夜あたり二、三人も押しかけて来られて「あれだけ立派な博覧会なら—」と場内広告の申込が殺到して来たのには驚きました。たしかにお世辞なしに「日本一」と太鼓判を押していいですね。

力強い特色をもつ

朝日放送平井専務

来てみて内容の素晴しく充実しているのに驚いた。殊に繊維七館の豪華さは驚嘆に値するものだ。今後の博覧会はこんな風にちから強い特色をもつべきだろう。開会一ヵ月にしてこれだけ清潔なのは珍らしい。これだけ内容の充実した博覧会は地方のみでなく広く全国の人に見せられるべきである。（平井氏は元朝日新聞企画室長、アメリカ博企画者）

上品で無駄がない

東京都立工芸学校相沢講師

私はあちこちの博覧会をよくみて歩きますが、福井のは実に上品で無駄がなく、そしてどれをみても何処までも初めの計画を失わないようにねばり強く努めておられる点がみえてうれしいですね、失礼ですが田舎の福井位と思つたのは大きな誤りでした。

戦後の最高記録

千葉大学小池教授

新しい企画が随所に活かされて非常にすつきりした博覧会だ。特に観光ガーデンや水道館の着想は初めて効果的だ。外観に比すれば内容の充実は驚くべきものがある内容の量においては神戸博をしのぎ、恐らく戦後の最高記録といい得よう。繊維をテーマに取り上げて、これだけ良心的につくられた試みは戦前戦後を通じ初めてで地方博の将来に大きな示唆を与えるものだ。（小池氏は美術評論家、博覧会研究の権威、神戸博企画者）

推賞の価値あり

文部省教育課程審議会委員
色彩教育研究会

山形会長

郷土の博覧会であるため多分に危惧を感じつつ来たが、非常に内容が充実していてこれなら十分江湖に推賞する価値があると認められ大いに意を強うした。

今後の好個のモデル

岡村宇治山田市会議議長

各館の配列、館名、展示様式の変化等に当局の並々ならぬ工夫のあとが見られ、従来の博覧会と全然趣を異にしたものを感ずる。今後の博覧会の好個のモデルとして充分推賞せらるべきであろう。

福井小唄

一、虹が染めたか
人絹模様
ドレス姿も
なつかしや
福井うまれと
もてはやされる
わたしゃ羽二重
絹の肌

二、逢えてよかった
あなたに一目
そっと言いたい
ことがある
ふたり詣った
あの日の願い
おもい出させる
永平寺

三、芦原湯の町
いで湯のけむり
濡れて寝たよの
夢がたみ
誰がちらした
浴槽の中に
花もつぼみの
紅ざくら

四、岩の屏風に
千鳥をとめて
君と見惚れた
東尋坊
かかるしぶきは
泪か露か
別れともない
おぼろ月

福井復興博を観て

あのはなしこのことば